



国立大学法人

鹿児島大学概要

OUTLINE OF KAGOSHIMA UNIVERSITY

2007



吉田 浩己 学長

鹿児島大学は、学問の自由を尊重し、学術文化の向上、自主自立の精神の涵養、人類福祉への奉仕、世界平和の維持および地球環境の保全など、地球規模での新しい豊かさの実現に努め、人類社会の発展の基礎となる「知の創生とその継承」を使命としています。

鹿児島大学は、8学部10大学院研究科からなり、約10,000名の学部生と約2,000名の大学院生、ならびに約2,300名の教職員が在籍し、その源を1773年に設立された藩学造士館に遡ることができる日本有数の総合大学であります。

鹿児島は日本列島の南の玄関にあって、山岳、海洋、島嶼に恵まれ、後世に遺すべき豊かな自然環境と優れた文化を育んだ地であります。古くから海外との交流を通じて、異文化の導入を率先して行い、わが国の近代化を推進した英才を多数輩出してきました。鹿児島大学はこのような地理的・文化的特徴を遺産として受け継ぎ、これを教育研究活動の精神的基盤として、学生、教職員が地域社会と一体となって、学術文化の向上、人類福祉への奉仕、世界平和の維持および地球環境の保全に努め、もって世界を先導する総合学術共同体を目指すことを基本理念としています。

鹿児島大学は、学生が安心して学習に励むことができるように、安全で快適なキャンパスを作り、真理を愛し、高い倫理観を備え、自ら困難に挑戦する人材を育成しております。また、基礎的な研究を重視し、先端的な応用研究を推進し、両者が融合した先導的・独創的な新しい学問の創出に挑むとともに、地域の特徴を生かした研究を重点分野と位置づけ、その成果を教育、社会連携、生涯教育などを通じて還元しています。

鹿児島大学は、地理的条件を有効に生かし、東南アジアや南太平洋島諸国との学術交流をさらに発展させ、国際学術交流協定大学は60大学を数え、世界36カ国から316名を超す留学生を迎えています。

今、鹿児島大学は長い歴史と伝統を踏まえつつ、国立大学法人化を機に、新しい21世紀の総合大学を創出し、大学に期待される大きな使命をさらに発展・展開させようとしています。

歴 代 学 長

氏 名	任 期	備考	氏 名	任 期	備考
緒 方 健三郎	昭和24年 5月31日～昭和31年 7月31日		石 神 兼 文	昭和56年1月12日～昭和60年1月11日	
福 田 得 志	昭和31年 8月 1日～昭和35年 7月31日		〃	昭和60年1月12日～昭和62年1月11日	
〃	昭和35年 8月 1日～昭和39年 7月31日		井 形 昭 弘	昭和62年1月12日～平成 3年1月11日	
〃	昭和39年 8月 1日～昭和43年 7月31日		〃	平成 3年1月12日～平成 5年1月11日	
町 野 碩 夫	昭和43年 8月 1日～昭和44年10月21日		早 坂 祥 三	平成 5年1月12日～平成 9年1月11日	
中 村 末 男	昭和44年10月21日～昭和46年 1月11日	※	田 中 弘 允	平成 9年1月12日～平成13年1月11日	
〃	昭和46年 1月12日～昭和50年 1月11日		〃	平成13年1月12日～平成15年1月11日	
蟹 江 松 雄	昭和50年 1月12日～昭和54年 1月11日		永 田 行 博	平成15年1月12日～平成19年1月11日	
〃	昭和54年 1月12日～昭和56年 1月11日		吉 田 浩 己	平成19年1月12日～	

※学長事務取扱

学 年 暦

学 期	
前 期	4月1日～9月30日
後 期	10月1日～3月31日
入 学 式	4月6日



休 業	
春季休業	4月1日～4月10日
夏季休業	8月1日～9月30日
冬季休業	12月25日～1月8日
鹿児島大学記念日	11月15日



卒 業 式	3月25日
-------	-------



学長挨拶／歴代学長	1
-----------	---

基本理念

鹿児島大学の基本理念	3
------------	---

沿革・組織

沿革概要図	5
組織図	7

役員等

役員、経営協議会委員、教育研究評議会評議員	9
副学長、学長補佐、部局長等（事務局含む）	

教育研究組織

教育センター	12
法文学部／人文社会科学研究科	13
教育学部／教育学研究科	14
理学部／理工学研究科	15
医学部／保健学研究科	16
歯学部	17
工学部／理工学研究科	18
農学部／農学研究科	19
水産学部／水産学研究科	20
大学院医歯学総合研究科	21
大学院司法政策研究科・大学院臨床心理学研究科	22
大学院連合農学研究科・山口大学大学院連合獣医学研究科	23
教育学部・附属学校	24
医学部・歯学部附属病院	25

施設等

学内共同教育研究施設等	27
国際戦略本部	34
厚生施設等	35
体育施設	36

資料編

役員・教職員数	37
学生の定員・現員	38
入学状況	41
卒業（修了）数・就職状況	43
学位授与状況	44
奨学生状況	44
外国人留学生	45
国際交流協定大学	47
研究者交流状況	48
部局別国際共同研究実施件数	48
財務状況	49
外部資金受入状況	50
産学官連携	52
公開講座	53
教育支援プログラム・特別教育研究経費	54
知的財産管理状況	55
学術刊行物	55
土地・建物・船舶	56
地区別建物等配置図	57
位置図・交通アクセス	61
所在地一覧	62

鹿児島大学の基本理念

鹿児島大学の使命

鹿児島大学は、その拠点が、日本列島の南の玄関に当たり、古くから海外との交流や文化の移入の先進地であり、近代への先導者の輩出地であったこと、海洋と島嶼に恵まれ後世に遺すべき優れた自然環境と伝統、文化の地であることに鑑み、また、地球規模で新たな豊さを享受する時代が拓かれつつあるとの深い認識のもと、学問の自由と多様性とを堅持し、自主自律の精神を涵養しつつ、「真善美壮を深く究めこれを具現し世界を先導する総合学術共同体」への持続的な展開を図る。

すなわち、鹿児島大学は、真理を愛し、高い倫理観と芸術性を備え、怯懦を排して自ら困難に挑戦する人格を育成し、学術と学芸のあらゆる分野で新たな時代にふさわしい体系と枠組みを創出することによって、また、国際的視点を堅持しつつ地域社会に密着しその発展に貢献することを通じて、学術文化向上への寄与はもとより、基本的人権ならびに自由と自主の尊重、人類の福祉と連帯、国際理解と寛容、世界平和および地球環境の保全に留意した維持可能でかつ公正な社会の発展に寄与する。

教 育

鹿児島大学は、開かれた大学として、学ぶ意欲と関心を自ら引き出す力のあるすべての人々を受け入れ、在学前後の教育機関やキャリア形成の種々の場との緊密な連携をはかりつつ、学生の潜在能力と適性の発見ならびにそれらの開花を促し、入学時の諸能力を顕著に発展させて大学の使命の実現に努めるとともに、これらを一層推進するための優れた教育の体系と方法を絶えず開発し展開することに努める。

研 究

鹿児島大学は、知者不言を美德とする場を超え出て、個々の卓越性の明確な自認と発信を促進して、学生をも伴った個性的独創的研究を展開するとともに、先端化しつつも細分化される個々の分野の統合を念頭に置きながら、世界と地域が求める新たな学術の体系と枠組みの創出に果敢に挑みそれらを高度に達成することによって、世界を先導する総合学術共同体の実を挙げる。

地域社会、国際社会との関係

鹿児島大学は、その使命にかなう限り、地域ならびに国際社会のあらゆる領域の多様な要請に対応することを抱負とし、また、学術と学芸のすべての分野で得られた成果を積極的に普及、活用するために、情報の迅速な公開と発信に努め、施設の開放はじめ種々の公開事業、交流事業を通じて地域の振興と活性化に貢献するとともに、国際社会の連帯と協力に資する知的交流網の核となることによって学術の国際的進展を牽引し、同時に、これらの活動から広く啓発されることを喜びとする。

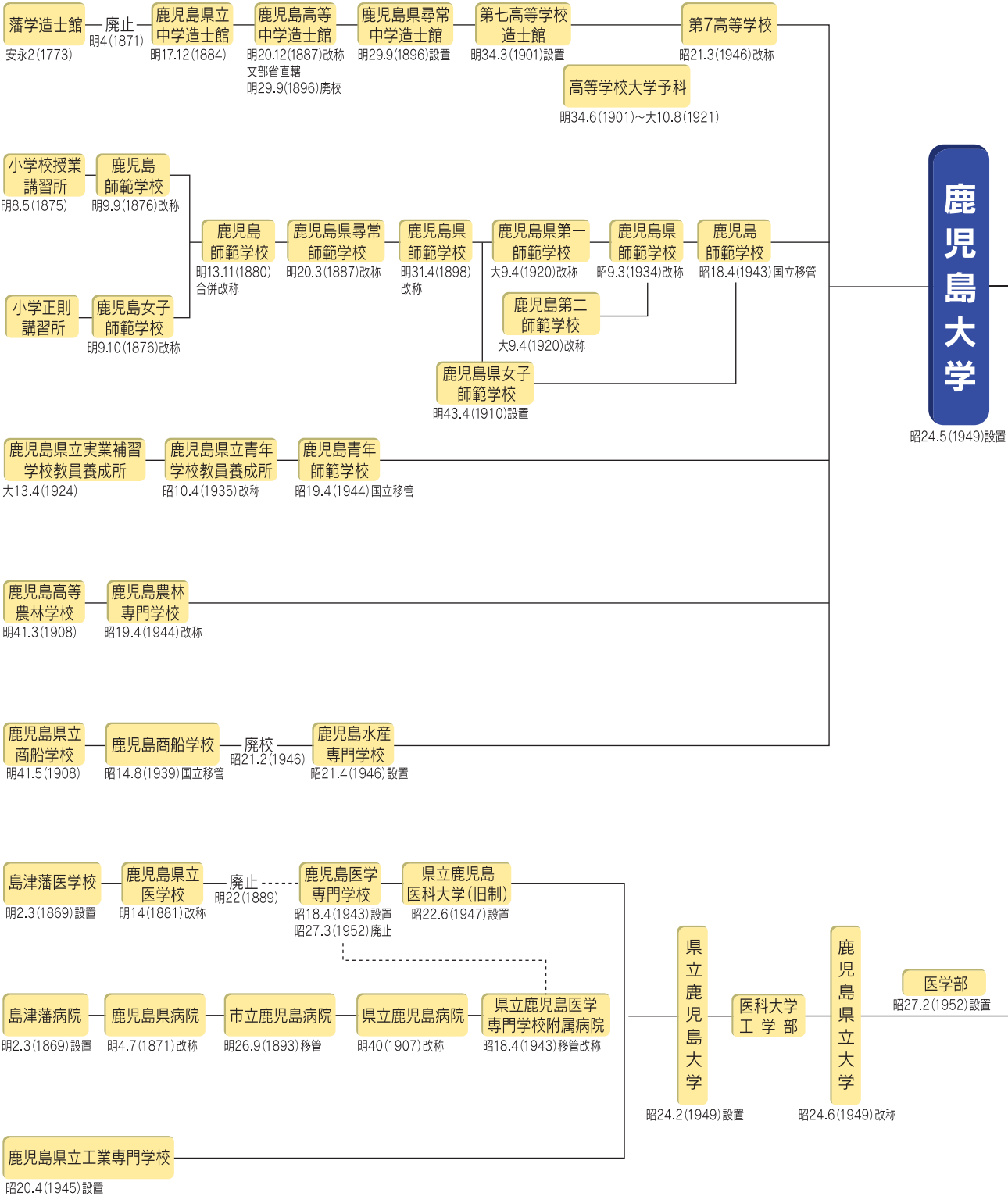
組織運営

鹿児島大学は、学生教職員の協働のもと、学部、研究科等教育研究上大きな役割を果たす基礎組織が大学全体の運営に等しく参画する機会をもつことはもとより、地域住民の参加と支援および学長による適切な指導的役割を重視し、弾力的で機動性に富む民主的組織運営を行う。

鹿児島大学は、その活動の点検評価に最適の体制を自発的に創出して機能させ、積極的に社会に対する説明責任を果たしつつ、学術の高度化、専門化の動向ならびに「男女共同参画」、「バリアフリー」等社会や地域の多様な要請に応じて、また大学の財務面、施設面にも配慮して、組織運営の不断の自律的改善に努め、安全で快適な総合学術共同体の一層の充実を図る。



沿革



鹿児島大学

昭24.5(1949)設置



藩学造士館(三国名勝図会)

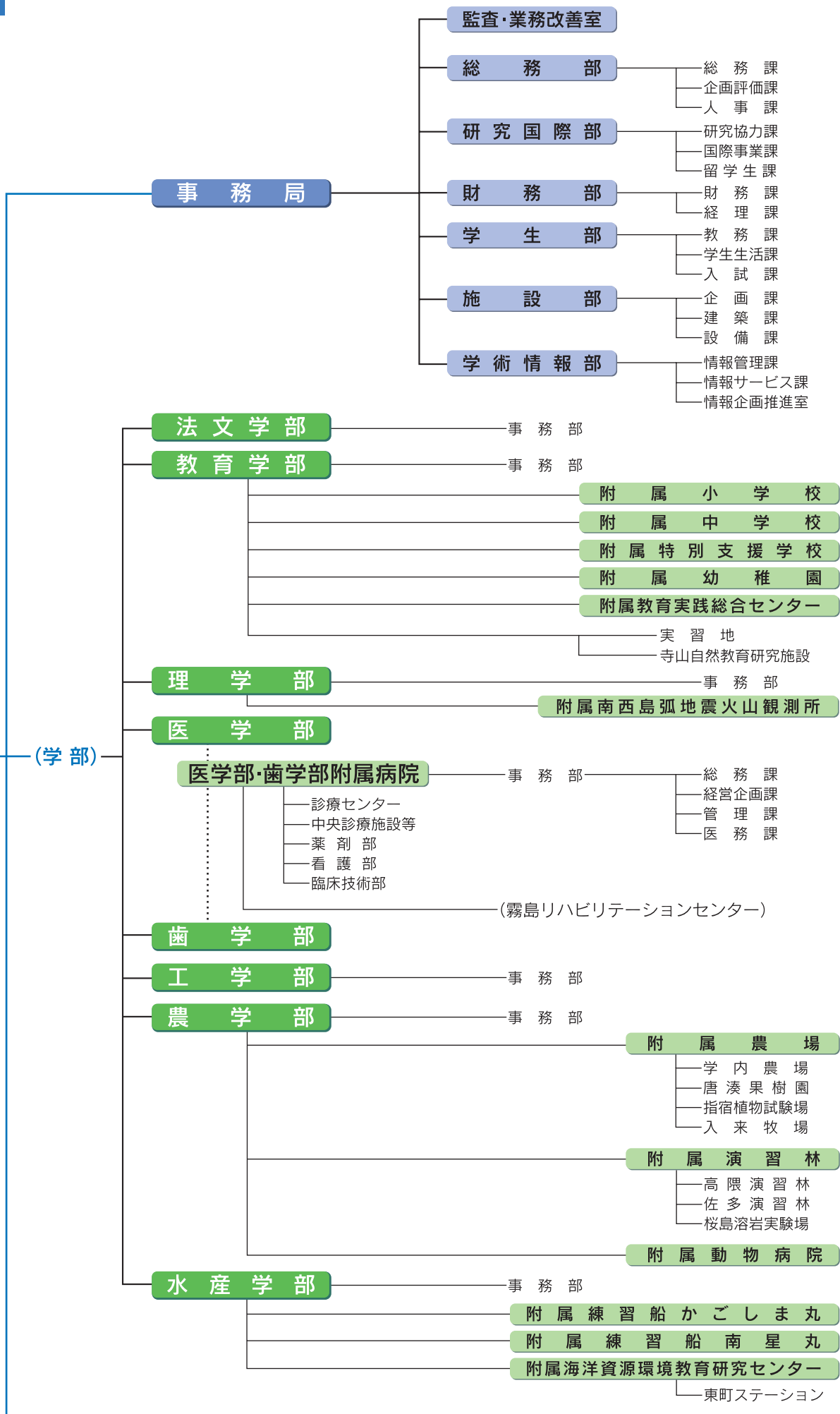


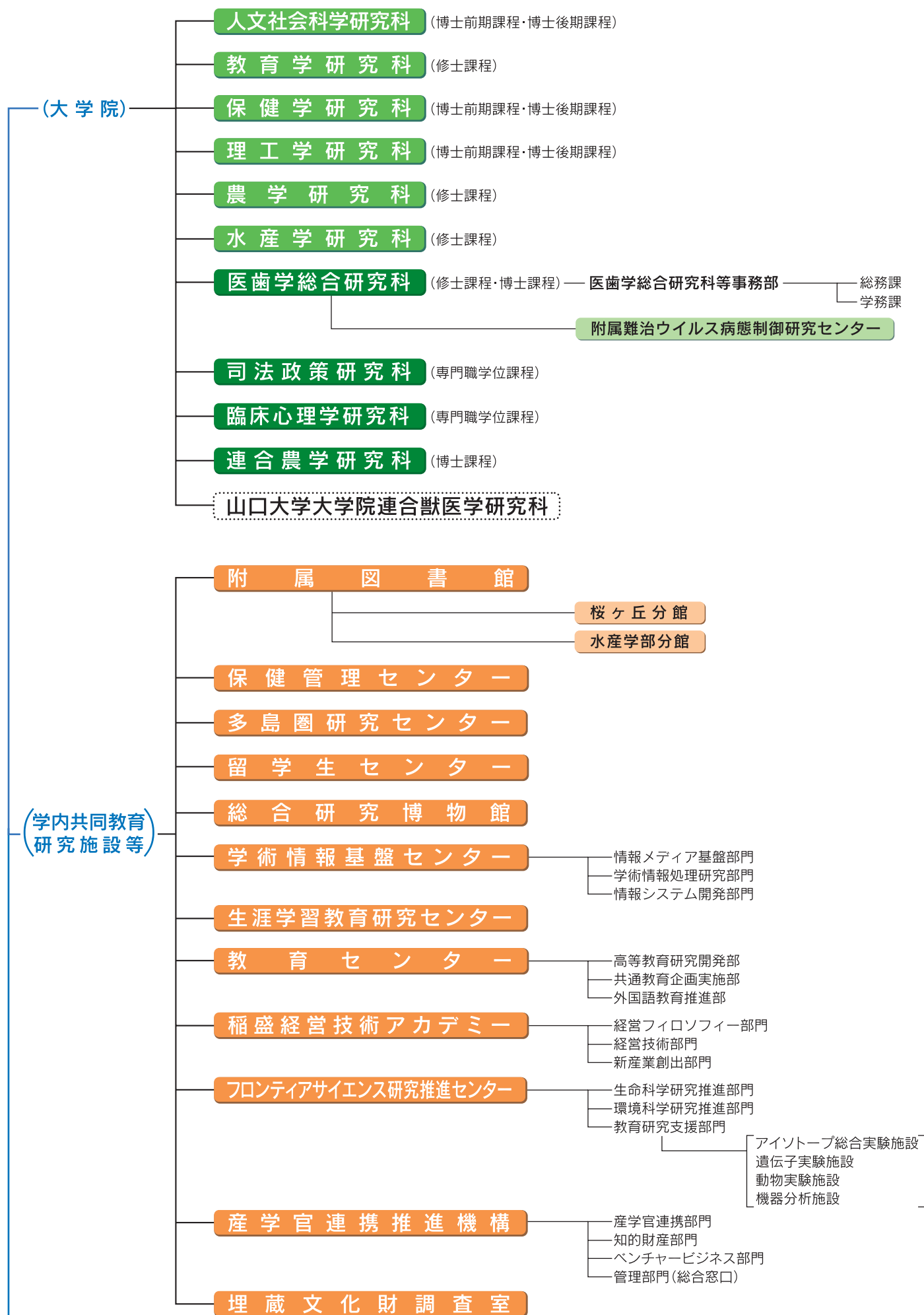
第七高等学校造士館前景



組織図

鹿児島大学





役員

学 長		吉 田 浩 己
理 事	総務・情報担当	皆 川 洋 一
理 事	企画・評価担当	面 高 俊 宏
理 事	教育・学生担当	中 山 右 尚
理 事	研究・社会連携担当	愛 甲 孝 孝
理 事	財務・環境担当(兼事務局長)	渡 部 賢 賢
理 事	経営担当	吉 田 和 正
監 事	業務監査	脇 田 稔 稔
監 事	会計監査	川 崎 孝 雄

経営協議会委員

学 長		吉 田 浩 己
消費生活アドバイザー		石 窪 奈穂美
鹿児島県副知事		市 橋 保 彦
鹿児島商工会議所副会頭		諏 訪 秀 治
鹿児島県医師会副会長		園 田 勝 男
志學館大学学長		辰 村 吉 康
社団法人日本産業カウンセラー協会 九州支部鹿児島地域責任者		林 ユリ子
前鹿屋体育大学理事(非常勤) 元鹿児島大学副学長		萬 田 正 治
理 事		皆 川 洋 一
理 事		面 高 俊 宏
理 事		中 山 右 尚
理 事		愛 甲 孝 孝
理 事		渡 部 賢 賢
医学部・歯学部附属病院長		高 松 英 夫

教育研究評議会評議員

学 長		吉 田 浩 己
理 事		皆 川 洋 一
理 事		面 高 俊 宏
理 事		中 山 右 尚
理 事		愛 甲 孝 孝
事務局長		渡 部 賢 賢
法文学部		木 部 暢 子 岡 部 悟 朗
教育学部		河 原 尚 武 内 田 芳 夫
理学部		清 原 貞 夫 宮 嶋 公 夫

医学部	小 田 綾 濱 田 博 文
歯学部	植 村 正 憲 鳥 居 光 男
工学部	福 井 泰 好 住 吉 文 夫
農学部	前 田 芳 實 岩 元 泉
水産学部	松 岡 達 郎 田 中 淑 人
医学部・歯学部附属病院長	高 松 英 夫
大学院医歯学総合研究科長	杉 原 一 正
大学院司法政策研究科長	緒 方 直 人
大学院臨床心理学研究科長	山 中 寛
大学院連合農学研究科長	青 木 孝 良
附属図書館長	早 川 勝 光
学内共同教育研究施設代表者	中 河 志 朗
教育センター長	谷 口 溪 山

副学長

学内予算配分検討担当	榮 鶴 義 人
教員定員検討担当	飯 田 泰 雄

学長補佐

産学官連携担当	安 部 淳 一
学士課程担当	阿 部 美 紀 子
教員養成担当	梅 野 正 信
就職担当	大 坪 治 彦
環境科学担当	小 野 寺 浩
評価担当	島 秀 典
大学院課程担当	仙 波 伊 知 郎
環境担当	友 清 貴 和
広報担当	中 島 あ や 子
将来構想担当	馬 場 昌 範
法務担当	前 田 稔

事務局

事務局長	渡部賢
総務部長	小椋史朗
総務課長	猪村篤
企画評価課長	福澤達弘
人事課長	執行正一
研究国際部長	吉良知哲
研究協力課長	川西正美
国際事業課長	縣猛男
財務部長	上田寿俊
財務課長	溝口寛士
経理課長	住吉重之
学生部長	三野博正
教務課長	岩下清二
学生生活課長	内山修一
入試課長	向井豊実
施設部長	西幸繁
企画課長	三島純一
建築課長	村久木志郎
設備課長	中山壯太郎
学術情報部長	寺垣敏司
情報管理課長	吉田英明
情報サービス課長	小川稔

学内共同教育研究施設等

▶ 附属図書館	
附属図書館長	早川勝光
桜ヶ丘分館長	波多野浩道
水産学部分館長	川村軍蔵
▶ 保健管理センター所長	森岡洋史
▶ 多島園研究センター長	富永茂人
▶ 留学生センター長	大嶋真紀
▶ 総合研究博物館長	大木公彦
▶ 学術情報基盤センター長	升屋正人
▶ 生涯学習教育研究センター長	原口泉
▶ 教育センター長	谷口溪山
副センター長	林國興
▶ 稲盛経営技術アカデミー長	福井泰好
▶ フロンティアサイエンス 研究推進センター長	中河志朗
▶ 産学官連携推進機構長	愛甲孝
▶ 埋蔵文化財調査室長	新田栄治

学部等

法文学部

学部長	木部暢子
副学部長	岡部悟朗
副学部長	北崎浩嗣
事務長	肥後博文

教育学部

学部長	河原尚武
副学部長	内田芳夫
副学部長	八田明夫
事務長	徳重潔
附属教育実践総合センター長	松田君彦
附属小学校長	今林俊一
附属中学校長	園屋高志
附属特別支援学校長	畠澤郎
附属幼稚園長	今林俊一

理学部

学部長	清原貞夫
副学部長	宮嶋公夫
副学部長	坪井昭二
副学部長	宮町宏樹
事務長	村尾忠男
附属南西島孤地震火山観測所長	宮町宏樹

医学部

学部長	小田紘
副学部長	濱田博文
副学部長	丸山征郎
副学部長	坂江清弘

歯学部

学部長	植村正憲
副学部長	鳥居光男
副学部長	椛山加綱
副学部長	伴清治

医学部・歯学部附属病院

病院長	高松英夫
副病院長(医科担当)	熊本一郎
副病院長(歯科担当)	鳥居光男
薬剤部長	山田勝士
看護部長	亀割成子
臨床技術部長	富吉司
事務部長	岩切憲保
総務課長	上村悦男
経営企画課長	九法成男
管理課長	砂山優智
医務課長	市山郁生

工学部

学部長	福井泰好
副学部長	住吉文夫
副学部長	宮島廣美
副学部長	浅野敏之
副学部長	松本利達
事務長	住田義久

農学部

学部長	前田芳實
副学部長	岩元泉
副学部長	岡達三
附属農場長	坂田祐介
附属演習林長	馬田英隆
附属動物病院長	三角一浩
事務長	東繁

水産学部

学部長	松岡達郎
副学部長	田中淑人
副学部長	板倉隆夫
附属練習船かごしま丸船長	益満侃
附属練習船南星丸船長	東政能
附属海洋資源環境 教育研究センター長	小山次朗
事務長	松尾博之

大学院

人文社会科学研究科長	木部暢子
教育学研究科長	河原尚武
保健学研究科長	濱田博文
理工学研究科長	福井泰好
農学研究科長	前田芳實
水産学研究科長	松岡達郎

大学院医歯学総合研究科

研究科長	杉原一正
副研究科長	榮鶴義人
副研究科長	松山隆美
副研究科長	島田和幸
副研究科長	長岡英一
附属難治ウイルス病態 制御研究センター長	馬場昌範

医歯学総合研究科等事務部

事務部長	田多園文雄
総務課長	新屋克明
学務課長	齋藤義弘

大学院司法政策研究科

研究科長	緒方直人
副研究科長	久保次三

大学院臨床心理学研究科

研究科長	山中寛
副研究科長	安部恒久

大学院連合農学研究科

研究科長	青木孝良
------	------

教育センター

教育センターは平成15年に設置されました。その任務は「鹿児島大学の教育の充実・発展」と「共通教育の実施」です。

共通教育は旧制第七高等学校時代以来、連綿と引き継がれてきた学士課程教育で、幅広い知識・教養・技能等を有するとともに、進取の精神、自主自律の精神に富み、深い歴史感覚、鋭い現実感覚、高い公共意識に裏付けられた判断力と構想力を有する個性豊かな人材の育成を目指しています。どの学部 of 学生にも必要な大学教育の大きな柱のひとつです。

教育センターは、共通教育(それに基礎教育)を統括・推進するだけでなく、鹿児島大学の教育の充実・発展のために、高等教育の研究開発を行い、外国語教育を推進し、ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を全学的に進めます。

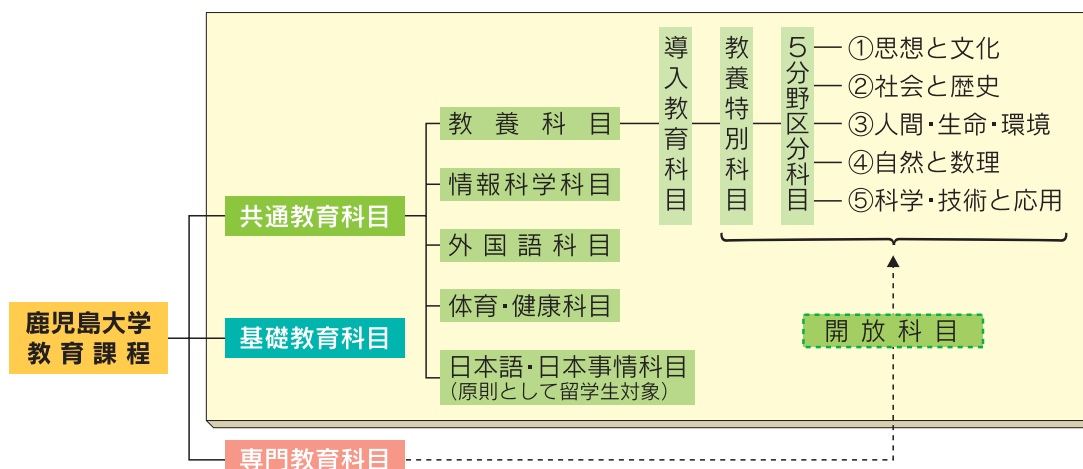


▲教養教育オープンクラス

教育センターの組織構成

【共通教育企画実施部】	共通教育科目(教養科目、情報科学科目、外国語科目、体育・健康科目、日本語・日本事情科目)と、基礎教育科目の研究開発・実施
【高等教育研究開発部】	高等教育の教育方法・教育支援・FDの研究開発、授業改善・教育評価・自己点検などの研究開発
【外国語教育推進部】	全学の外国語教育の研究・改善・提言およびカリキュラム開発

鹿児島大学教育課程 (大きな枠内が教育センターの教育)



法文学部

人文社会科学研究科



▲「英語コミュニケーション」授業

法文学部は、藩学造士館、旧制第七高等学校の系譜を引く学部で、現在では、法政策学科、経済情報学科、人文学科の3学科から構成される文系総合学部となっています。法文学部では、現代社会における情報化、国際化の進展や、地域経済構造の変化、過疎化、高齢化などの現実社会の諸問題に適切に対処できる、現実的な課題解決能力をもつ人材の育成をめざしています。

また、より専門的に研究を深めることを目指す人のために、人文社会科学研究科が設置されています。修士の学位を目指す人のための博士前期課程は、法学専攻、経済社会システム専攻、人間環境文化論専攻、国際総合文化論専攻の4専攻からなり、博士学位に挑戦する人のための博士後期課程は、地域政策科学専攻からなっています。博士前期課程は昼夜開講制、博士後期課程は夜間主大学院となっており、広く社会人に開かれた教育システムを取っています。

法文学部／学科と講座

法政策学科	政策科学 市民法 法交渉
経済情報学科	経済システム 経営情報 地域計画 国際協力
人文学科	人間科学 地域環境 日本・アジア総合文化 ヨーロッパ・アメリカ総合文化

人文社会科学研究科／課程と専攻

博士前期課程	法学 経済社会システム 人間環境文化論 国際総合文化論
博士後期課程	地域政策科学

教育学部

教育学研究科



▲合奏演習

教育学部は、明治の小学校授業講習所・師範学校以来、鹿児島県をはじめとする教育界や各界に幾多の有益な人材を輩出してきました。学部は小・中・高等学校の教員を養成する学校教育教員養成課程、特別支援学校の教員を養成する特別支援教育教員養成課程と社会教育分野などの指導者養成を専門とする生涯教育総合課程の3課程で構成されています。

大学院教育学研究科は、学部卒業生等や小・中・高・特別支援学校の現職教員を対象に、広い視野にたった精深な学術を修め、教育の諸分野に関する高度の専門的学識を養い、現代の複雑な教育の諸問題に的確に対応できる人材を育成することを目的とし、大学院修学休業制度、夜間開講、長期履修生制度などの就学上の特例措置があり、現職の教員や社会人にも学びやすい条件が整えられています。

教育学部／課程と講座(専修)

学校教育教員養成課程	国語教育、社会科教育、数学教育 理科教育、音楽教育、美術教育 保健体育、技術教育、家政教育 英語教育、教育学、心理学
特別支援教育教員養成課程	障害児教育
生涯教育総合課程	地域社会教育 国際理解教育 健康教育

教育学研究科／課程と専攻

修士課程	学校教育専攻 教科教育専攻
------	------------------

附属教育研究施設

小学校、中学校
特別支援学校、幼稚園
教育実践総合センター
寺山自然教育研究施設

理学部

理工学研究科



▲与論島実習

理学部は第七高等学校に源を発し、自然科学の基礎分野を教育研究の対象とする南九州唯一の学部であり、大学院（理工学研究科〈博士前期課程・後期課程〉）も設置されています。国立天文台等の研究機関と連携した教育研究や、南九州という地理的特性を生かした多様な自然環境に関連した研究等が推し進められており、地域社会とも密接な関係を持ちながらその発展に貢献しています。理学部は、専門分野での深い知識と、広く科学的に考える能力とを併せ持った人材を育成することをその教育目標としています。

理学部／学科と講座

数理情報科学科	数理構造 現象数理 情報数理
物理科学科	物性理論 固体物理 宇宙情報
生命化学科	分子機能化学 有機生化学 生命機能
地球環境科学科	地質科学 島弧火山 環境解析 多様性生物学

理工学研究科／課程と専攻

博士前期課程	機械工学、電気電子工学、建築学 応用化学工学、海洋土木工学 情報工学、生体工学 ナノ構造先端材料工学 数理情報科学、物理科学、生命化学 地球環境科学
博士後期課程	物質生産工学 システム情報工学 ナノ構造先端材料工学 生命物質システム

附属教育研究施設

南西島弧地震火山観測所

医学部

保健学研究科



▲医学科臨床実習



▲理学療法学実習

医学部は、明治2年にウィリアム・ウィリスを校長として設立された島津藩医学校を前身とし、昭和18年に医学科の母体となる県立鹿児島医学専門学校が開校されました。その後幾多の変遷をたどり、平成10年には保健学科が設置され、現在では医学科と保健学科の2学科で構成されています。この間、多くの人材を輩出し、日本各地で医学医療の進歩と国民の健康と福祉のため多大な貢献をしています。本学部では、人間性豊かな、地域に貢献する、研究心旺盛な、国際的視野に立つ医学・医療を担う人を育成することを目指しています。

また、平成15年に保健学研究科(修士課程)が設置され、更に平成17年には、保健学研究科(博士後期課程)が設置されました。

医学部／学科と学科目等

医学科

医学概説学
疾病病因学
疾病病態学
医学実践学
臨床実践学

保健学科

看護学専攻
総合基礎看護学
臨床看護学
母性・小児看護学
地域看護・看護情報学

理学療法学専攻
基礎理学療法学
臨床理学療法学

作業療法学専攻
基礎作業療法学
臨床作業療法学

保健学研究科／課程と領域・分野

博士前期課程

看護学領域
基礎看護・地域看護学分野
臨床看護学分野

理学療法・作業療法学領域
理学療法学分野
作業療法学分野

博士後期課程

保健看護学分野
神経運動障害基礎学分野
臨床精神神経障害学分野

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

歯学部



▲組織学実習



▲歯周病科手術

歯学部は、沖縄を含む南九州全域における歯科医学の教育、研究の中核的役割を果たすべく、昭和52年10月に設置されました。本学部では、う蝕、歯周疾患、咬合異常、歯の欠損、口腔領域の外傷・形成不全・疼痛・腫瘍などの原因を究明し、これら症状の予防法と治療法を確立していくとともに、歯科医学を通して地域的にも国際的にも十分に貢献しうる人材を育成することを目標としています。共通・教養教育や基礎医学・隣接臨床医学教育にも力を注ぐとともに、良識ある人間形成に繋がる教育を心掛け、全人的歯科医療人の育成を目指しています。

歯学部／学科と学科目

歯学科

歯科常態学
歯科病態学
発達育成歯科学
口腔顎顔面歯科学

附属教育研究施設

医学部・歯学部附属病院

工学部

理工学研究科



▲建築学科実習

昭和24年4月鹿児島県立大学の発足に伴い、鹿児島県立工業専門学校を母胎として工学部が設置され、同30年県立から国立移管され鹿児島大学工学部となりました。

工学部は、工学を支える基礎研究の中核及び国際的視野をもった技術者の養成機関として、広い視野と解決能力のある柔軟な頭脳をもつ研究者・技術者の養成を目指しています。また、これまで以上に国際的に通用する技術者の育成を目指して、各学科で教育課程の見直し等を行い、JABEE(日本技術者教育認定機構)への認定に向けて取り組みを行っており、平成19年5月現在、機械工学科・電気電子工学科・建築学科・応用化学工学科(化学工学コース・応用化学コース)・海洋土木工学科が認定を受けています。

工学部／学科と講座

機械工学科	設計生産システム工学 エネルギーシステム工学	海洋土木工学科	環境システム工学 建設システム工学
電気電子工学科	電子物性デバイス工学 電気エネルギー工学 通信システム工学	情報工学科	知能情報工学 情報システム工学
建築学科	建築構造構成学 居住環境構成学	生体工学科	生体機能材料 生体電子工学
応用化学工学科	分子工学 機能材料工学 化学システム工学		

理工学研究科／課程と専攻

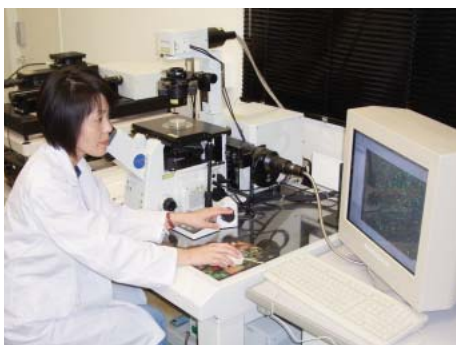
博士前期課程	機械工学、電気電子工学、建築学 応用化学工学、海洋土木工学 情報工学、生体工学 ナノ構造先端材料工学 数理情報科学、物理学 生命化学、地球環境科学	博士後期課程	物質生産工学 システム情報工学 ナノ構造先端材料工学 生命物質システム
--------	--	--------	--

農学部

農学研究科



▲動物病院



▲BSE対策研究室に設置された共焦点レーザー走査顕微鏡



農学部は、明治41年開設の国立鹿児島高等農林学校に始まり、昭和19年4月鹿児島農林専門学校と改称、昭和24年鹿児島大学農学部となりました。現在は、学部の上に修士課程（農学研究科）及び博士課程（連合農学研究科、連合獣医学研究科）が設置されています。自然環境に調和した食料生産技術の開発、生物機能の解明と応用、自然生態系の保全と修復、動物の医療技術および多面的機能の開発、農山村社会の活性化などに関する研究に取り組むとともに、新たな時代に向けた創造性豊かな人材の育成に努めています。

農学部／学科と講座

生物生産学科	作物生産学、園芸生産学 病虫害制御学 家畜生産学 農業経営経済学
生物資源化学科	生命機能化学 食品機能化学 食糧生産化学
生物環境学科	森林管理学 地域資源環境学 環境システム学 生産環境工学
獣医学科	基礎獣医学 病態・予防獣医学 臨床獣医学 先端獣医科学

農学研究科／課程と専攻

修士課程	生物生産学 生物資源化学 生物環境学
------	--------------------------

寄附講座

焼酎学（鹿児島県酒造組合連合会・鹿児島県）

附属教育研究施設

農場、演習林、動物病院

水産学部

水産学研究科



▲附属練習船かごしま丸



▲附属練習船南星丸



水産学部は、東南アジア・南太平洋を含む水域の陸水域から公海域までをフィールドとし、水産資源の持続的生産とその合理的利用、水圏環境の保全、生活文化の創出の分野で、地域社会と国際社会に貢献したいと考えています。食糧生産の確保と海洋環境の保全といった時代の要請に応えるため、高度で先端的な教育を受けた技術者を養成し、熱帯・亜熱帯水域を対象とする諸活動では世界をリードしています。平成15年には大学教育の分野では日本で初めて、国際的な品質基準であるISO9001認証を取得しました。また、平成19年には、カリキュラム改革に伴い、講座を廃止し、教育分野による教員組織を形成しました。

水産学部／学科等と教育分野

水産学科	水産生物・海洋学分野
水産教員養成課程	養殖学分野
	食品・資源利用学分野
	漁業工学分野
	水産経済学分野
	水産教員養成課程分野

水産学研究科／課程と専攻

修士課程	水産学専攻
------	-------

附属教育研究施設

附属練習船かごしま丸 (1,297トン)
 附属練習船南星丸 (175トン)
 附属海洋資源環境教育研究センター
 食品・資源利用学実習工場、回流水槽実験室
 鴨池海洋生産実験室

大学院 医歯学総合研究科



▲医歯学総合研究科棟(基礎医学系)、(臨床医学系)



▲医歯学総合研究科棟(歯学系)



▲桜ヶ丘キャンパス全景

大学院医歯学総合研究科は、多様な社会的要請に迅速に対応し、高度な教育と先端的研究を効率的に実施、解決するために、1.生命科学領域の教育研究のリーダーの育成、2.地域の特性を生かした生命医療科学領域の教育研究拠点の創出、3.専門性を備えながら医の倫理観を備えた生命医療人の育成を目標にし、疾病の予防と治療を使命とする医学と歯学が有機的に結合され、より柔軟で広範な生命医療科学の発展が期待できる大学院組織として、平成15年4月に博士課程、平成16年4月には修士課程(医科学専攻)が設置されました。

また、平成19年4月には、離島へき地医療に貢献できる医療人の育成を目的とする離島へき地医療人育成センターが設置されました。

大学院医歯学総合研究科／課程と専攻と講座

博士課程	健康科学専攻
	人間環境学 社会・行動医学 感染防御学 発生発達成育学 国際島嶼医療学(プロジェクト講座) 宇宙環境医学(連携講座)
修士課程	医科学専攻
	先進治療科学専攻
	神経病学、感覚器病学
	運動機能修復学
	循環器・呼吸器病学
	生体機能制御学
	顎顔面機能再建学、腫瘍学 再生・再建移植学(プロジェクト講座)

寄附講座

臨床予防医療(新日本科学)
医療関節材料開発(日本メディカルマテリアル)
心筋症病態制御(ジェンザイム・ジャパン)

附属教育研究施設

難治ウイルス病態制御研究センター

大学院 司法政策研究科

大学院司法政策研究科(法科大学院)は、平成16年4月設置の3年制専門職大学院です。司法過疎と呼ばれる南九州に位置する法科大学院として、これからの司法の在り方を構想、実現していく活動的な法曹を養成することを目的としています。修了者には法務博士の学位と新司法試験の受験資格が授与されます。学生定員30名、専任教員17名(兼担教員13名、兼任教員21名)という徹底した少人数教育を行い、法律実務家をめざす明確な問題意識や関心を育てつつ、新司法試験に合格するに十分な学力を涵養します。

大学院司法政策研究科(法科大学院)／課程と専攻

専門職学位課程(法務博士)	法曹実務
---------------	------



▲学修成果発表としての公開模擬裁判

大学院 臨床心理学研究科

大学院臨床心理学研究科は、従来の研究者養成目的の大学院から、国民のこころの健康に寄与する高度専門職業人養成を目的とした専門職大学院として、平成19年4月、装いを新たにしてスタートしました。本研究科では4名の実務家教員と5名の教育研究教員による個別・少人数指導体制を設定し、講義、演習、学内外での実習を通して、教育、福祉、医療、司法・矯正領域など多様な分野で即戦力として活躍できる臨床心理士を養成・輩出しようとするものです。入学定員は15名であり、働く社会人のために特別選抜の制度等も設けています。

大学院臨床心理学研究科(専門職大学院)／課程と専攻

専門職学位課程(臨床心理修士)	臨床心理学
-----------------	-------



▲箱庭療法についての実習講義



▲心理臨床相談室

大学院 連合農学研究科

大学院連合農学研究科は佐賀大学、琉球大学、鹿児島大学の各農学研究科及び水産学研究科の修士課程の連携・協力の基に、それぞれの研究科の特徴と地域特性を生かした農学・水産学系の博士課程の大学院です。先端の生命科学から農・水産学の基本となる生命資源の利用と食糧生産、環境保全など社会貢献、国際貢献を主眼として教育・研究を行っています。資源利用化学連合講座には先端バイオテクノロジーの教育・研究を行う連携大学院〔タカラバイオ(株)〕を設置しています。博士論文提出後には農学・水産学・学術のいずれかの博士号が付与され、学位付与者は、教育職及び研究職など幅広い分野で活躍しています。



▲共通セミナー(一般)風景

大学院連合農学研究科／課程と専攻と連合講座

博士課程	生物生産科学専攻	生物資源利用科学専攻	生物環境保全科学専攻	水産資源科学専攻
	植物生産学	生物環境保護学	生物環境保護学	海洋生産環境学
	動物生産学	生物生産工学	生物生産工学	水産資源利用学
	農林資源・経営学			
	熱帯資源生物学			

(注)連合農学研究科は、3大学(佐賀、鹿児島、琉球)で構成

山口大学大学院 連合獣医学研究科

大学院連合獣医学研究科は、平成2年4月に鹿児島大学、鳥取大学、山口大学及び宮崎大学が連合して設置された修業年限4年の博士課程で、基幹校は山口大学です。

本研究科は、1専攻(獣医学専攻)で、3連合講座から成り、学生の入学定員は12名であり、創造性豊かな研究者や高度の専門的知識と能力を有する人材を養成しています。学生1人につき、主指導教員1人、副指導教員2人が指導に当たりますが、他大学の教員並びに学生相互の討論を通して、自己を高めると同時に相互の親睦と連帯感の形成に役立てています。



山口大学大学院連合獣医学研究科／課程と専攻と連合講座

博士課程	獣医学専攻
	基礎獣医学、病態・予防獣医学、臨床獣医学

(注)山口大学大学院連合獣医学研究科は4大学(鳥取、山口、宮崎、鹿児島)で構成

教育学部・附属学校

附属小学校

附属小学校は、創立130周年を迎え、児童数981名(学級数27)で国立大学法人の附属小学校の中でも全国一の規模を誇る学校です。小学校教育に関する理論的・実践的な研究の推進、教育実習生の指導の充実、研究や実践の公開による本県の小学校教育向上への貢献という3つの使命を持ち、特に、複式教育や英会話における先進的な研究、実践で高い評価を得ています。



附属中学校

附属中学校は、創立57周年を迎え、591名の生徒が在籍しています。本校は、学部と一体となり中学校教育に関する理論的・実践的研究を行う。学部の計画に従い、学生の教育実習の場としてその指導に当たる。研究会、共同研究等の教育交流を通して、現職教育の振興に寄与する。という三つの使命を果たすべく日々前進する学校です。



附属特別支援学校

附属特別支援学校は昭和55年に開校し、現在、知的障害を主な障害とする小学部・中学部・高等部の児童生徒62名が在籍しています。特別支援教育の理念の下、子どもたちの豊かな生活を目指し、大学をはじめとする関係機関との連携を図りながら一人ひとりのニーズに応じた、きめ細やかな教育実践を積み重ね、地域の特別支援教育のセンター的な役割も担っています。



附属幼稚園

明治12年4月創立の附属幼稚園は、全国で2番目に古い歴史をもつ幼稚園です。今年度は、3歳児20人、4歳児35人、5歳児33人、計3学級88人が在籍しています。研究主題に「他とよりよくなることを通して、自分らしさを発揮できる子どもの育成(一年次)」を掲げて、本県の幼稚園教育の向上の役割を果たしつつ、学部と連携し研究を深めるとともに、親と子が共に育つ場としての幼稚園をめざしています。



医学部・歯学部附属病院

医学部・歯学部附属病院は、医学部と歯学部の両病院を統合し、診療科を疾患機能別の17にセンター化するなど組織の見直しを図り、これまで以上に、患者さん本位の医療の推進と高度医療の開発提供、効率的・機能的な病院運営を実現し、更なる地域医療における役割を充実させることを目指し、平成15年10月1日から「鹿児島大学病院」としてスタートしました。

診療センター	部門科	中央診療施設等
循環器センター	心臓血管内科 心臓血管外科	■検査部 ■手術部 ■放射線部 ■医療器材管理部 ■救急部 ■集中治療部 ■輸血部 ■医療情報部 ■周産母子部 ■全身管理歯科治療部 ■血液浄化療法部 ■病理部 ■光学医療診療部 ■腫瘍センター ■歯科技工室 ■病歴管理室 ■リハビリテーション室 ■中央採液室 ■臨床心理室 ■歯科総合診療部 ■治験管理部 ■遺伝カウンセリング室 ■卒後臨床研修部 ■クオリティ・マネジメント部 ■離島・地域医療連携部 ■医療相談室 ■外来化学療法室
消化器センター	消化器内科 消化器外科	
脳・神経センター	神経内科 脳神経外科	
呼吸器・ストレスケアセンター	呼吸器内科 呼吸器外科 心身医療科	
腎臓・泌尿器センター	腎臓内科 泌尿器科	
血液・内分泌・糖尿病センター	血液・膠原病内科 糖尿病・内分泌内科 乳腺・内分泌外科	
メンタルケアセンター	神経科精神科	
小児診療センター	小児科 小児外科	
女性診療センター	産科、婦人科	
整形・運動機能センター	整形外科・リウマチ外科	
感覚器センター	皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	
放射線診療センター	放射線科 顎顔面放射線科	
麻酔全身管理センター	麻酔科 歯科麻酔科	
リハビリテーションセンター	リハビリテーション科	
発達系歯科センター	口腔保健科 矯正歯科 小児歯科	
成人系歯科センター	保存科 歯周病科 冠・ブリッジ科 義歯補綴科	
口腔顎顔面センター	口腔外科 口腔顎顔面外科	
		薬 剤 部
		看 護 部
		臨床技術部
		事 務 部



▲医科診療棟



▲歯科診療棟



▲霧島リハビリテーションセンター

医学部・歯学部附属病院患者数

(平成18年度)

医 科 部 門				歯 科 部 門			
診 療 科 名	患 者 数		病 床 数	診 療 科 名	患 者 数		病 床 数
	入 院	外 来			入 院	外 来	
内 科	52,121	72,021	149	口 腔 保 健 科	-	6,871	40
神 經 科 精 神 科	12,647	15,557	45	保 存 科	-	9,731	
小 児 科	12,920	10,921	41	歯 周 病 科	-	16,524	
外 科	39,138	14,806	107	冠 ・ ブ リ ッ ジ 科	-	12,481	
脳 神 經 外 科	9,660	4,988	28	義 歯 補 綴 科	-	12,623	
整 形 外 科 ・ リ ウ マ チ 外 科	18,834	15,782	50	口 腔 外 科	5,925	8,451	
皮 膚 科	9,762	15,371	30	口 腔 顎 顔 面 外 科	5,616	9,933	
泌 尿 器 科	9,112	9,014	29	矯 正 歯 科	-	7,541	
眼 科	11,971	23,124	39	小 児 歯 科	45	6,774	
耳 鼻 咽 喉 科 ・ 頭 頸 部 外 科	10,673	15,082	34	顎 顔 面 放 射 線 科	-	3,824	
放 射 線 科	8,717	7,735	23	歯 科 麻 酔 科	-	471	
産 婦 人 科	17,313	12,110	53	全 身 管 理 歯 科 治 療 部	-	660	
麻 酔 科	1,619	5,822	4	歯 科 総 合 診 療 部	-	4,646	
小 児 外 科	2,717	3,080	11	計	11,586	100,530	
心 身 医 療 科	1,761	8,245	5	(注) () は再掲			
リハビリテーション科	17,489	8,739	50	共通 内訳(結核13床、感染7床、特別室6床)			
放 射 線 治 療 室	-	-	3	内科…心臓血管内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、腎臓内科、			
集 中 治 療 室	-	-	8	血液・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科			
共 通	-	-	26	外科…心臓血管外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科			
計	236,454	242,397	735	産婦人科…産科、婦人科			

学内共同教育研究施設等

附属図書館

附属図書館は、中央図書館(郡元地区)、桜ヶ丘分館(桜ヶ丘地区)及び水産学部分館(下荒田地区)の3館で組織されており、教育・研究に必要な図書館資料を広い分野にわたり収集し利用に供している。利用者は、中央図書館及び2つの分館を共通に利用できる。

利用者サービスとしては、閲覧・貸出をはじめ、レファレンス・サービス、学外の図書館との文献複写・現物貸借を行っている。また、文献情報データベース、電子ジャーナル等の電子情報資料の整備充実に努めている。

【中央図書館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
8:30～20:00	10:00～17:00

休館日

- 国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋地上5階地下2階建
(平成8年12月竣工)

延床面積	12,697m ²
閲覧スペース	4,876m ²
サービススペース	1,808m ²
収蔵スペース	2,359m ²
事務室等	775m ²
その他	2,879m ²
総座席数	940席
収容可能冊数	945,000冊



【桜ヶ丘分館】

開館時間

月～金曜日	土・日曜日
8:30～21:00	10:00～18:00

休館日

- 国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋3階建
(昭和52年4月竣工、昭和56年5月増築)

延床面積	1,980m ²
閲覧スペース	1,251m ²
サービススペース	159m ²
収蔵スペース	189m ²
事務室等	238m ²
その他	143m ²
総座席数	131席
収容可能冊数	192,000冊



【水産学部分館】

開館時間

月～金曜日	土曜日
8:30～20:00	10:00～17:00

休館日

- 日曜日、国民の祝日
- 年末年始等(12月27日～1月3日)

施設

鉄筋2階建
(昭和45年2月竣工)

延床面積	849m ²
閲覧スペース	307m ²
サービススペース	47m ²
収蔵スペース	248m ²
事務室等	113m ²
その他	134m ²
総座席数	52席
収容可能冊数	41,000冊



【平成18年度利用状況】

区 分	開館日数	総 入 館 者 数					合 計
		平 日			土曜日	日曜日	
		17:00まで	17:00以降	計			
中央図書館	305	267,236	78,619	345,855	20,675	22,496	389,026
桜ヶ丘分館	340	71,744	33,652	105,396	7,709	8,419	121,524
水産学部分館	286	26,710	5,929	32,639	2,400	—	35,039
合 計		365,690	118,200	483,890	30,784	30,915	545,589

【蔵 書】

図書(冊)

(平成19年4月1日現在)

区 分	総 記	哲 学	歴 史	社会科学	自然科学	技 術	産 業	芸 術	言 語	文 学	合 計	
和漢書	中央図書館	66,453	43,383	76,738	206,088	112,752	73,339	55,738	29,377	28,108	70,317	762,293
	桜ヶ丘分館	1,027	1,833	694	5,412	91,802	1,192	367	630	1,744	1,365	106,066
	水産学部分館	1,741	446	1,502	10,317	11,915	7,502	12,699	815	1,088	616	48,641
	小 計	69,221	45,662	78,934	221,817	216,469	82,033	68,804	30,822	30,940	72,298	917,000
洋書	中央図書館	15,698	18,809	16,862	52,687	83,258	19,581	19,677	4,524	13,256	32,828	277,180
	桜ヶ丘分館	858	346	114	653	78,637	95	77	78	431	424	81,713
	水産学部分館	578	101	243	727	5,439	2,250	3,888	229	273	65	13,793
	小 計	17,134	19,256	17,219	54,067	167,334	21,926	23,642	4,831	13,960	33,317	372,686
合 計	86,355	64,918	96,153	275,884	383,803	103,959	92,446	35,653	44,900	105,615	1,289,686	

雑誌(種類数)

区 分	和雑誌	洋雑誌	合 計
中央図書館	15,834	7,542	23,376
桜ヶ丘分館	3,439	2,316	5,755
水産学部分館	2,154	1,016	3,170
合 計	21,427	10,874	32,301



▲玉里文庫

【特殊文庫】

文庫名	内 容 等					
玉里文庫	島津久光及び玉里島津家の旧蔵書 久光の直筆本、島津家編輯本、和漢書の写本類、薩摩藩関係史誌、幕末洋学関係翻訳書の写本等 18,730冊					
岩元文庫	旧制第一高等学校教授であった岩元禎氏の旧蔵書 漢籍と文学・哲学関係の洋書 漢籍4,515冊、洋書826冊					
松本文庫	旧制第八高等学校漢文学教授であった松本亦一氏の旧蔵書 漢籍と和書、医書を多く含む 2,186冊					
小北文庫	旧制鹿児島高等農林学校長小出満二氏が渡豪中に実業家北村寅之助氏の助力を得て収集し、後に同校図書館に寄贈したオーストラリア、太平洋諸島関係洋書 686冊					
小野文庫	元法政大学教授小野武夫博士の旧蔵書 農業経済、農業史、地方史を中心とするコレクション 4,127冊					
鹿児島県地券台帳	明治15年鹿児島県における地券発行原簿のコレクション 出水、川辺、揖宿、肝属、大隅、熊毛、馭謨、臼杵の各郡が比較的まとまっている。附属資料として共有地台帳、地価修正一筆限帳等が含まれる 2,944冊					
諸家文書	市来家文書	105点	川田家文書	116点	木脇家文書	18点
	山田家文書	30点	寺尾家文書	387点	伊集院家文書	17点
	有馬家文書	61点	志々目家文書	37点	長野家文書	141点
	斑目家文書	17点	伊勢家文書	695点	新納家文書	122点
	肝付家文書	65冊	八田家文書	2巻(13点)		

産学官連携推進機構

産学官連携部門

鹿児島大学で生まれた研究シーズと社会ニーズのマッチングを図り、民間企業等との共同研究等を通じた研究成果の社会還元、技術移転を推進している。

産学共同研究のコーディネート他、地域産業界等からの技術相談への対応、公募事業等の獲得支援、自治体と共同した産学官プロジェクトの企画・立案などを行い、また大学の研究成果等の情報発信や、産学官交流活動を支援する。

知的財産部門

教育研究活動の中で生まれた発明等の知的財産を一元的に取り扱うとともに戦略的な推進を図っている。このため、各学部・研究科と連携して知的財産の創出、権利化及び活用を積極的に行い、更に、研究者及び学生に対する教育啓発活動を展開し、知的財産を通じた産学官連携活動により本学の社会貢献に寄与することを目指している。

ベンチャービジネス部門

ベンチャー企業や産学官連携事業のためのインキュベーション機能を有する教育研究施設。インキュベーションプロジェクトとしては、ナノバイオ関連及び社会科学関連の研究テーマも受け入れている。

(URL:<http://www.vbl.kagoshima-u.ac.jp/>)

ベンチャー創業時に必要な実践ビジネス教育プログラムを大学院科目として、開講している。

【鹿児島大学産学官連携推進機構ベンチャービジネス部門シリコンバレーオフィス】

平成16年12月、米国シリコンバレー地区に研究シーズの海外連携やビジネス教育の推進を目指して設立された本学初の海外拠点。米国の企業、大学等との共同研究や大学発ベンチャー創業のコンサルテーション業務やハイテク情報の提供を行う。

管 理 部 門

機構の学内外総合窓口、機構の会議及び各種事務業務等を担う管理部門を置き、研究国際部研究協力課が担当している。



▲産学官連携推進機構棟



▲鹿児島大学産学官連携情報発信シンポジウムパネルディスカッション

フロンティアサイエンス研究推進センター

鹿児島大学フロンティアサイエンス研究推進センター(FSRC)は、学内共同教育研究施設を統合した教育研究支援部門と、鹿児島大学における重点的研究課題を推進する生命科学研究推進部門とから構成されている。

教育研究支援部門

教育研究支援部門には、アイソトープ総合実験施設、機器分析施設、遺伝子実験施設及び動物実験施設があり、それぞれに関連した分野における教育研究の支援をおこなっている。

【アイソトープ総合実験施設】

放射性同位元素及び放射線を利用する教育研究を推進するとともに、本学の放射線施設の安全管理に関し、中心的な役割を担っている。

【機器分析施設】

大型・高性能機器の計画的導入および集中管理による各種計測・分析機器の有効かつ円滑な共同利用を図り、学内における教育研究活動を支援している。

【遺伝子実験施設】

組換えDNA実験をはじめとした遺伝子に関連する教育研究及び安全管理をおこない、物理的封じ込めP3レベルまでの実験ができる各種実験室等も整備されている。

【動物実験施設】

実験動物および動物実験に関する教育研究を推進するとともに、実験動物の品質管理及び安全管理に関する研究にも取り組み、動物の福祉に配慮した動物実験の適正化を図っている。

生命科学研究推進部門

本学における重点的研究課題を実施するものとして、生命科学研究推進部門に先端医療開発分野が設置されている。この分野は、種々の先端医療の開発を目的としたトランスレーショナルリサーチを推進している。そのなかでも、解剖学的・生理学的特性がヒトに酷似した医用ミニブタ(鹿児島大学で開発されたクラウン系ミニブタ)を用い、独創的な遺伝子改変技術によって異種移植医療を実現し、再生移植医療におけるドナーの臓器不足という世界的な大問題の解決をめざす『異種移植プロジェクト』が、本分野を中心とした学際的研究として推進されている。

<重点的研究課題を遂行する研究プロジェクト>

フロンティアサイエンス研究推進センターは、本学における重点的研究活動を促進するために、研究プロジェクトを学内から選抜し推進している。

平成17年度は、上記の『異種移植プロジェクト』とともに、『健やかな長寿社会を目指した機能的食環境の創生』が採択されて研究が進められている。

さらに平成18年度には、『医工連携による糖鎖を標的とした成人T細胞白血病に対する治療法の開発研究』、『21世紀の農業を担う新技術開発に向けた先導研究～植物－微生物相互作用とホルモン農薬の有効利用～』、『難治性神経代謝疾患のトランスレーショナルリサーチ－遺伝的基盤解明、先端医療への応用とこころのケア』の3つのプロジェクトが採択され、今後の発展が期待されている。



▲プロテインシーケンサー(遺伝子実験施設)



▲X線光電子分析装置(機器分析室)



▲クローンミニブタ(異種移植プロジェクト)

稲盛経営技術アカデミー

平成17年4月に設置した稲盛経営技術アカデミーは、寄附講座「京セラ経営学講座(平成12年4月)」を拡大発展させた施設であり、京セラ(株)及び本工学部の出身である京セラ(株)名誉会長の稲盛和夫氏からの寄附金を運用し、教育研究を実施している。

科学技術(理系)と社会経済システム(文系)に関するセンスを併せ持つリーダーシップ・積極性を有する人材の育成および現代の若者に経営や技術だけでなく、人間の生き方、倫理学・哲学についても学んでいただく場である。



▲稲盛和夫氏

経営フィロソフィー部門

【教育プログラムの特徴】

「人生と哲学」、「経営と哲学」、「技術と哲学」の3つのテーマに関する教育科目から構成され、広く一般にも通用するプログラムを提供する。

【開講科目】

- ベンチャービジネス論(学部学生)
- ベンチャービジネス実践論(大学院学生・社会人)
- 稲盛セミナー(学部学生)

経営技術部門

【教育プログラムの特徴】

企業活動に必要な不可欠な知識やノウハウを取り入れた実践プログラムを提供する。特に技術経営(MOT)の講義を中心とし、高度専門職業人の養成に努めるとともに企業人の再教育も行う。

【開講科目】

- 実践経営論(学部学生)
- ベンチャービジネス特論I(大学院学生)
- 経営実学(大学院学生・社会人)
- ベンチャービジネス特論II(大学院学生)
- 企業リーダーシップ論(大学院学生・社会人)
- ビジネス経営総論(大学院学生・社会人)

新産業創出部門

【教育プログラムの特徴】

大学が保有する知的財産の活用をはじめ、産学連携・地域振興を行うための実践学を学ぶ。また、キャリアデザインや海外研修も教育プログラムに取り入れる。

【開講科目】

- 特許出願・権利化・戦略構築実務論(大学院学生・社会人)
- ビジネスストレスマネジメント論(大学院学生・社会人)
- シリコンバレーセミナー(大学院学生)
- ハイテクプロダクトデザイン(大学院学生)

稲盛会館

稲盛和夫京セラ(株)名誉会長から寄贈されたもので、教育および学術の交流の場として本学の職員その他の関係者の利用に供することにより、本学の教育・研究の進展に資するとともに、学術および文化の向上に寄与することを目的としている。

▶日本を代表する著名な建築家安藤忠雄氏の設計
(地下1階～地上3階建、建面積810.40G、延面積1,628.85G)



留学生センター

留学生センターは、外国人留学生及び海外留学を希望する本学の学生に、必要な教育及び指導助言等を行うことにより、本学における国際交流の推進に寄与することを目的として、平成12年4月に設置された。この目的のために、外国人留学生に対する、日本語日本文化教育、学習カウンセリング、地域社会との交流推進や、海外留学を希望する学生への情報提供などを行っている。



▲ポスターセッション

保健管理センター

保健管理センターは、学生および教職員の心身の健康の保持並びにその増進を図ることを目的とし、保健管理に関する実施計画の立案等を行っている。

センターでは、専任の医師3名、看護師および保健師各1名のほか、学医として学内の各科の専門医（内科、精神神経科、整形外科、眼科、耳鼻科、婦人科、歯科）による健康相談業務を行い、さらにカウンセラーとして法文学部と教育学部の心理学の教員および非常勤の臨床心理士が心理相談やカウンセリングにあたっている。

また、禁煙サポートプログラムの開発、定期健康診断の予約システムの確立や診断結果のデータのデジタル化およびその結果解析など、調査研究も活発に行っている。

【業務内容】

- 定期健康診断ならびに臨時健康診断と事後指導
- 心理相談ならびに学生相談
- 一般診療、急性疾患に対する短期的投薬、他医療施設への紹介・受診指導
- 健康診断証明書発行
- 健康教育活動（学生・教職員への健康啓発講演会開催など）
- 保健管理に関する調査研究
- 環境衛生および伝染病予防に関する指導
- 保健管理センター年報の発行



学術情報基盤センター

学術情報基盤センターは、鹿児島大学の情報基盤を担う中核的組織として、教育研究用計算機システム及びキャンパス情報ネットワークの運用管理、大学全体の情報セキュリティ対策支援、情報システムの企画・開発・運用、IT相談等、鹿児島大学の教育研究全般の情報化支援に積極的に取り組んでいる。

センターには、情報メディア基盤部門、学術情報処理研究部門、情報システム開発部門の3部門がおかれ、それぞれの部門に属する専任教員が情報通信技術に関する研究開発、情報通信技術を生かした地域との連携、マルチメディア教材の研究開発、情報教育支援体制の整備による学内部局との連携、学術情報データの蓄積と発信に関する研究開発を推進すると共に、学内の教育研究の高度情報化に指導的な役割を果たしている。



多島圏研究センター

アジア太平洋の多島域について、学際的な調査研究を実施して学術の国際交流を図り、これらの地域の福祉発展に寄与することを目的とし、学内外の協力者と連携協力しながら、フィールドワークを重視した研究活動に取り組んでいる。



▲ミクロネシア連邦チューク州ビス島での聞き取り調査

総合研究博物館

総合研究博物館は、学内の貴重な学術資料を一元的に整理・管理・展示公開して研究・教育に効果的に利用し、さらに広く一般社会へ情報を発信することを目的として平成13年4月に設置された。平成16年5月には常設展示室を開設し、学術資料や研究の成果を一般にむけて公開している。毎年、秋には特別展を開催し、年に数回市民講座・研究交流会などを行っている。そのほか、News Letterの発行など学内外に向けた活動を行っている。

また、常設展示室は、平成18年10月18日付けで国の登録有形文化財に登録された。昭和3(1928)年に建てられた展示室は、鹿児島に現存する初期の鉄筋コンクリートの建物で、学校施設としても歴史的な価値を持っていることが評価された。



▲総合研究博物館常設展示室

生涯学習教育研究センター

生涯学習教育研究センターは、大学が蓄積する知的資源との関係から生涯学習を研究する。また各地域の特性に基づく生涯学習の課題と方法を、地域のニーズに従って、公開講座、セミナー、シンポジウムを提供し、指導者の養成も含め地域に貢献するセンターである。公開授業による大学開放も推進している。

(URL:<http://www.life.kagoshima-u.ac.jp>)



▲シニア短期留学

埋蔵文化財調査室

埋蔵文化財調査室では、学内の施設整備に伴うキャンパス内遺跡の発掘調査を行い、そこから得られた埋蔵文化財の整理、研究、報告書作成を行っており、調査時には、一般市民向けの体験発掘や、遺跡見学会を開催している。



▲遺跡説明会

鹿児島大学東京リエゾンオフィス

鹿児島大学の首都圏における活動、情報の収集および発信等を活発に行うため、東京・芝浦(JR山手線 田町駅)のキャンパス・イノベーションセンター(CIC)内に設置されたオフィス。



鹿児島大学大学院奄美サテライト教室（徳之島分室）

全国にも例のない離島でのサテライト教室が奄美大島に設置されて既に3年が経過した。外洋島嶼に居ながら高度専門教育を受けることができる本教室に、科目等履修生を中心にした熱心な受講生と正規院生が集まる。平成19年度には、徳之島分室も開設され、7名の受講生が誕生した。鹿児島キャンパスで提供されている授業科目に加えて、社会人のキャリアアップに役立つことを企図して、独自の授業科目「奄美プロジェクト」も開設されている。これまでの教室は、人文社会科学研究科が単独で運営してきたが、今年度から新たに教育学研究科も授業を提供することとなった。



▲徳之島分室の開講式

鹿児島大学インフォメーションセンター

インフォメーションセンターは、一般市民、受験生や企業の方々等との交流拠点として平成19年4月に正門に付設された。鹿児島大学の教育・研究・社会貢献活動の概要の紹介、各種イベント等の案内、研究成果物の展示、広報誌等の配布、大学オリジナルグッズの販売を行うほか、大学紹介DVDの視聴が可能となっている。

開館：月～金曜日（祝祭日等除く）9時00分～17時30分



国際戦略本部

国際戦略本部 (KUCIP : Kagoshima University Center for International Planning) は、本学の教育研究の国際交流及び研究成果を基盤とした国際社会への貢献を戦略的に推進することにより、教育研究の国際的通用性の向上を図ることを目的とした中枢的組織として、平成17年9月に設置された。

KUCIPは、理事（研究・社会連携担当）を本部長とし、専任職員2名及び学内の兼任職員を配置しており、組織的国際展開への求心力を高めるための国際戦略の策定とそれに必要なプログラム事業遂行のため、次の機能を有している。

- ①教育研究に関する国際戦略の策定
- ②教育研究の国際展開の企画・支援及び手法の開発
- ③国際開発協力事業の企画・支援
- ④世界の学術動向に関する調査
- ⑤国際機関、海外大学等との連携強化
- ⑥職員の国際業務のスキルアップ

平成18年度から4年間の計画で、国際戦略本部の主導により、本学の置かれた地域特性を活かした分野に関する国際連携教育プログラム開発を目的とした「水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活躍できる高度専門能力及び技術経営能力を備えた人材の養成」プロジェクトを実施している。

また、これらの事業を推進するにあたり、適切な助言を得るため、国際経験豊富な学外有識者を「国際戦略アドバイザー」として委嘱している。



▲鹿児島大学の国際化に関するシンポジウム

厚生施設等

大学会館

大学会館は、学生相互並びに学生と教職員間の人間関係を緊密にし、かつ、学生の教養を高め、豊かな人間性・社会性を涵養するための課外教育活動を盛んにし、また、その厚生福祉に寄与することを目的に、1号館が昭和47年3月、2・4号館が昭和36年5月、3号館が昭和37年8月に設置された。

開館時間は午前9時から午後9時まで、休館日は日曜日・祝日及び12月29日から翌年1月3日までとなっている。



建物名称	階別	施設名	用途等
1号館 (1,409m ²)	1	軽食堂	喫茶、食事 (64席)
		理髪室	理髪 (4台)
	2	共用談話室	休憩、談話 (52人)
		音楽鑑賞室	音楽鑑賞 (56人)
3	会議室(1・2)	会議、研究会等	(42人・20人)
		和室(1～5)	会議及び邦楽、茶道・華道等の練習
4	ホール	音楽会、講演会、研究会等	(300人)
		音楽練習室(1・2)	音楽等練習
2号館 (779m ²)	1	小集会室	会議、展示会等
		サークル連絡室	サークル活動
3号館 (422m ²)	2	サークル連絡室	サークル活動
		1	大集会室
4号館 (448m ²)	1	厚生センター	書籍、日用品等の購売

課外活動施設

課外活動(サークル)は、大学教育における人間形成の上で必要不可欠であり、各キャンパス毎に課外活動施設を有している。体育系サークルが利用する体育施設、文化系サークルが主に利用する大学会館(1～3号館)以外に、平成14年3月に設置された課外活動共用施設などがある。

課外活動共用施設は、サークル間の交流・連携の場(学生の交流プラザ)としての中庭を囲むようにして、防音設備完備の音楽練習室、シャワー室、共用ラウンジ、共用ミーティング室及びサークル室等を配置し、文化系、体育系合わせて90サークルが使用している。

施設名	所在地	備考
課外活動共用施設	郡元地区	文化系・体育系サークル
馬房(厩舎)	郡元地区	馬術
平川艇庫	平川町海岸	ヨット
磯艇庫	磯海岸	ボート
鴨池艇庫	鴨池臨海地	カッター



▲課外活動共用施設(サークル棟)

食堂



▲中央食堂



▲郡元南食堂

食堂名	延面積	席数	所在地
中央食堂	1,347m ²	510席	総合地区(郡元地区)
軽食堂(ガリア)	121m ²	50席	総合地区(郡元地区)
郡元南食堂	882m ²	190席	教育学部内(〃)
桜ヶ丘会館	417m ²	190席	医学部内(桜ヶ丘地区)
水産学部食堂	350m ²	120席	水産学部内(下荒田地区)

国際交流会館

国際交流会館は、本学の外国人留学生及び本学において教育・研究に従事する外国人研究者に対し居住の場を提供し、国際交流の促進に資することを目的に1号館が昭和54年4月に2号館が平成6年10月に設置された。



(1号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	35室
夫婦室	39	3室
家族室	59	2室
主事室	14	
事務室	16	
談話室	47	
娯楽室	94	
和室	25	
補食室	5~12	4室
浴室	3~8	4室
洗濯室	10	4室
管理人室	52	
倉庫	7	

(2号館)

室名	面積(m ²)	室数
単身室	12	30室
夫婦室	40	6室
家族室	58	4室
補食室	11	4室
洗濯・シャワー室	11	4室
ラウンジコーナー	39	
談話コーナー	14	

備考：延面積 1,259m²
建物構造 R4

備考：延面積 1,430m²
建物構造 RC4

外国人研究者宿泊施設

鹿児島大学創立50周年記念事業の一環で寄付された外国人研究者のための宿泊施設で、平成15年12月に下荒田キャンパスに完成した。

建物は鉄骨造地上2階、延床面積502gで長期滞在用と短期滞在用の計16室の単身室で構成され、各個室にはテレビ、冷蔵庫等が備えられている。



学生寮



棟名	区分	建物	延面積(m ²)	収容定員(名)
唐湊寄宿舍	A棟	鉄筋5階建	1,412	76
	B棟	〃	1,568	92
	C棟	鉄筋2階建	629	64
	女子寮	鉄筋4階建	1,600	81
	共用棟	鉄筋1階建	317	
桜ヶ丘寄宿舍		鉄筋5階建	2,696	99
合計			8,222	412

体育施設

施設名	所在地	備考
陸上競技場	郡元地区	400mトラック、夜間照明あり
球技場	〃	夜間照明あり
亀ヶ原運動場	桜ヶ丘地区	野球場
桜ヶ丘グラウンド	〃	サッカー・ラグビー場
テニスコート	郡元地区	8面、夜間照明あり
〃	桜ヶ丘地区	7面
第1体育館	郡元地区	1,122m ²
第2体育館	〃	2,461m ²
桜ヶ丘体育館	桜ヶ丘地区	1,072m ²
武道館	郡元地区	391m ²
医・歯学部課外活動施設(武道場)	桜ヶ丘地区	451m ²

施設名	所在地	備考
弓道場	郡元地区	39m×14m
〃	桜ヶ丘地区	38m×12m
室内プール	郡元地区	50m(7コース)



役員・教職員数

■現員

(平成19年5月1日現在)

部 局 等	職 別										事務職員 技術職員等	合 計	
		学 長	役 員	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	教 諭	小 計			
役 員		1	8								9		9
事 務 局											0	179	179
国 際 戦 略 本 部				1	1						2		2
評 価 室					1						1		1
保 健 管 理 セ ン タ ー				1	1			1			3	2	5
多 島 圏 研 究 セ ン タ ー				3	1						4		4
留 学 生 セ ン タ ー				2	2						4		4
綜 合 研 究 博 物 館				1	3				1		5		5
学 術 情 報 基 盤 セ ン タ ー				4	1			1			6		6
生 涯 学 習 教 育 研 究 セ ン タ ー				1	1						2		2
教 育 セ ン タ ー				1	4						5		5
稲 盛 経 営 技 術 ア カ デ ミ ー				1	1						2		2
フ ロ ン テ ィ ア サ イ エ ンス 研 究 推 進 セ ン タ ー				4	4			2			10	6	16
産 学 官 連 携 推 進 機 構				1							1		1
埋 蔵 文 化 財 調 査 室					1			1			2		2
法 文 学 部				53	36				2		91	17	108
教 育 学 部				54	31	5					90	20	110
附属教育実践総合センター				6	4						10		10
附属小学校										37	37	6	43
附属中学校										30	30	2	32
附属特別支援学校										27	27	2	29
附属幼稚園										4	4		4
理 学 部				28	29	2	10				69	13	82
附属南西島弧地震火山観測所					1		1				2	1	3
医 学 部				22	6	7	21				56	1	57
医学部・歯学部附属病院				2	7	44	91				144	825	969
工 学 部				40	41	2	27				110	44	154
農 学 部				46	46	1	9				102	23	125
附属農場				1	1		1				3	20	23
附属演習林				1	1						2	6	8
附属動物病院					1						1	2	3
水 産 学 部				20	15	3	6				44	16	60
附属練習船かごしま丸					1	2	2				5	25	30
附属練習船南星丸					1	1					2	12	14
附属海洋資源環境教育研究センター				3	2		1				6	7	13
大 学 院 理 工 学 研 究 科				7	4		3	1			15		15
大 学 院 医 歯 学 総 合 研 究 科				49	41	14	109				213	19	232
附属難治ウイルス病態制御研究センター				4	3	2	1				10		10
医 歯 学 総 合 研 究 科 等 事 務 部											0	43	43
大 学 院 司 法 政 策 研 究 科				11	3						14		14
大 学 院 臨 床 心 理 学 研 究 科				6	3						9		9
大 学 院 連 合 農 学 研 究 科				1 (48)	(20)	(1)	(7)				1 (76)		1 (76)
計		1	8	374 (48)	298 (20)	83 (1)	287 (7)	4	98	1,153 (76)	1,291	2,444 (76)	

(注) 書きは、兼職教員数を外数で表す。

学生の定員・現員

■学 部

(平成19年5月1日現在)

学 部	学科・課程	入学 定員	3年次 編入学 定員	現 員						
				1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
法文学部	法政策学科	95	10	100 (47)	107 (52)	107 (42)	157 (60)			471 (201)
	経済情報学科	145		157 (73)	164 (83)	156 (74)	203 (88)			680 (318)
	人文学科	155		166 (124)	170 (137)	176 (131)	241 (177)			753 (569)
	小 計	395		423 (244)	441 (272)	439 (247)	601 (325)			1,904 (1,088)
教育学部	学校教育教員養成課程	225		231 (117)	237 (125)	231 (114)	307 (132)			1,006 (488)
	特別支援教育教員養成課程	15		16 (11)						16 (11)
	養護学校教員養成課程				17 (15)	15 (9)	17 (10)			49 (34)
	生涯教育総合課程	35		37 (23)	42 (25)	46 (25)	56 (34)			181 (107)
	小 計	275		284 (151)	296 (165)	292 (148)	380 (176)			1,252 (640)
理学部	数理情報科学科	40		42 (6)	41 (5)	50 (5)	46 (4)			179 (20)
	物理学科	45		45 (6)	51 (8)	67 (6)	50 (10)			213 (30)
	生命化学科	50		50 (22)	54 (26)	61 (25)	54 (22)			219 (95)
	地球環境科学科	50		50 (20)	54 (21)	75 (31)	50 (18)			229 (90)
	小 計	185		187 (54)	200 (60)	253 (67)	200 (54)			840 (235)
医学部	医 学 科	85	10	87 (27)	92 (34)	93 (30)	106 (32)	101(36)	99(35)	578 (194)
	保健学科	120	20	121 (87)	120 (82)	140 (102)	129 (100)			510 (371)
	小 計	205	30	208 (114)	212 (116)	233 (132)	235 (132)	101(36)	99(35)	1,088 (565)
歯学部	歯 学 科	55		58 (24)	58 (23)	55 (12)	49 (23)	52(15)	70(23)	342 (120)
工学部	機械工学科	94	10	112 (4)	120 (3)	108 (5)	108 (6)			448 (18)
	電気電子工学科	78		102 (1)	109 (4)	83 (8)	101 (1)			395 (14)
	建築学科	55		61 (15)	73 (18)	73 (20)	63 (17)			270 (70)
	応用化学工学科	60		66 (17)	78 (13)	90 (15)	50 (9)			284 (54)
	海洋土木工学科	48		53 (6)	58 (4)	70 (9)	53 (6)			234 (25)
	情報工学科	60		87 (13)	64 (3)	74 (8)	65 (3)			290 (27)
	生体工学科	60		72 (22)	76 (20)	79 (27)	63 (29)			290 (98)
	小 計	455		553 (78)	578 (65)	577 (92)	503 (71)			2,211 (306)
農学部	生物生産学科	80		80 (41)	92 (37)	89 (44)	94 (32)			355 (154)
	生物資源化学科	60		60 (31)	67 (32)	63 (30)	82 (39)			272 (132)
	生物環境学科	65		72 (15)	65 (25)	70 (24)	75 (22)			282 (86)
	獣医学科	30		32 (13)	32 (12)	33 (14)	34 (16)	31(15)	42(19)	204 (89)
	小 計	235		244 (100)	256 (106)	255 (112)	285 (109)	31(15)	42(19)	1,113 (461)
水産学部	水産学科	130		138 (31)	135 (34)	132 (31)	161 (40)			566 (136)
	水産教員養成課程	10		10 (3)	14 (5)	12 (2)	16 (6)			52 (16)
	小 計	140		148 (34)	149 (39)	144 (33)	177 (46)			618 (152)
合 計	1,945	50	2,105 (799)	2,190 (846)	2,248 (843)	2,430 (936)	184(66)	211(77)	9,368(3,567)	

- (注)1. ()は女子で内数。
 2. 現員には外国人留学生を含む。
 3. 医学部医学科の編入学定員は2年次後期の編入学定員。
 4. 教育学部養護学校教員養成課程は平成19年度より募集停止。

■大学院

(平成19年5月1日現在)

研究科	入学定員	現 員								合 計
		修士課程(博士前期)			博士課程(博士後期)又は専門職学位課程					
		1年	2年	計	1年	2年	3年	4年	計	
人文社会科学研究科	28	36 (14)	57 (33)	93 (47)						93 (47)
	6				8 (3)	9 (1)	9 (2)		26 (6)	26 (6)
教育学研究科	38	34 (14)	49 (23)	83 (37)						83 (37)
保健学研究科	22	17 (9)	31 (21)	48 (30)						48 (30)
	6				6 (5)	5 (2)	8 (4)		19 (11)	19 (11)
理工学研究科	216	293 (42)	285 (40)	578 (82)						578 (82)
	34				27 (4)	36 (7)	35 (4)		98 (15)	98 (15)
農学研究科	69	76 (20)	55 (18)	131 (38)						131 (38)
水産学研究科	32	34 (8)	24 (7)	58 (15)						58 (15)
医歯学総合研究科	20	20 (11)	16 (6)	36 (17)						36 (17)
	94				63 (21)	100 (29)	61 (25)	117 (28)	341 (103)	341 (103)
医学研究科※								76 (15)	76 (15)	76 (15)
歯学研究科※								1 (0)	1 (0)	1 (0)
司法政策研究科	30				32 (7)	26 (5)	28 (8)		86 (20)	86 (20)
臨床心理学研究科	15				15 (12)				15 (12)	15 (12)
連合農学研究科	23				27 (6)	53 (12)	62 (19)		142 (37)	142 (37)
計	633	510 (118)	517 (148)	1,027 (266)	178 (58)	229 (56)	203 (62)	194 (43)	804 (219)	1,831 (485)
山口大学大学院連合獣医学研究科	12				2 (0)	3 (0)	3 (1)	6 (2)	14 (3)	14 (3)

(注)1. ()は女子で内数。

2. 現員には外国人留学生を含む。

3. 司法政策研究科(法科大学院)、臨床心理学研究科は専門職学位課程。

4. 連合農学研究科は鹿児島・佐賀・琉球の3大学の構成によるもの。

5. 山口大学大学院連合獣医学研究科の現員数は、鹿児島大学(指導教員)に属する学生数。

6. 人文社会科学研究科修士課程(博士前期)の現員数は、臨床心理学専攻(平成19年度より募集停止)に属する学生数を含む。

7. 印は旧研究科。

○大学院の社会人選抜入学者数

(平成19年5月1日現在)

研究科	平成19年度	
人文社会科学研究科	博士前期	8
	博士後期	4
教育学研究科		8
保健学研究科	博士前期	10
	博士後期	4
理工学研究科	博士前期	
	博士後期	6
農学研究科		9
水産学研究科		1
医歯学総合研究科	修士課程	5
	博士課程	28
司法政策研究科		
臨床心理学研究科		
連合農学研究科		2
計		85

現職教員を含む。

■附属学校

【教育学部附属小学校】

(平成19年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員							学 級 数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
附属小学校	普通学級	160	158	155	159	153	160	148	933	各学年4学級 計24学級
	複式学級	1年 8	8						48	1・2年で1学級
		2年 8		8						
		3年 8			8					3・4年で1学級 計3学級
		4年 8				8				
		5年 8					8			
6年 8						8	5・6年で1学級			
計	168	166	163	167	161	168	156	981		

【教育学部附属中学校】

(平成19年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員				学 級 数
			1年	2年	3年	計	
附属中学校	普通学級	200	200	199	192	591	各学年5学級 計15学級

【教育学部附属特別支援学校】

(平成19年5月1日現在)

	学級区分	入学定員	現 員							学 級 数
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
附属特別支援学校	小学部	3	3	3	3	3	3	4	19	1・2学年で1学級 3・4学年で1学級 計3学級 5・6学年で1学級
	中学部	6	6	6	6				18	各学年1学級 計3学級
	高等部	8	8	8	9				25	各学年1学級 計3学級

【教育学部附属幼稚園】

(平成19年5月1日現在)

	入園定員	現 員				学 級 数	
		3歳児	4歳児	5歳児	計		
附属幼稚園	3年保育	20				88	3歳児、4歳児、5歳児 各1学級 計3学級
	2年保育	15	20	35	33		

4歳児は3年保育進級児と2年保育入園児、5歳児は4歳児の進級児

入学状況

■学部

(平成19年5月1日現在)

学 部	入学定員	志 願 者 数	入 学 者 数	入学者の出身地別割合 (%)	
				県 内	県 外
法 文 学 部	395	1,447 (784)	422 (244)	64.7	35.3
教 育 学 部	275	1,262 (665)	283 (150)	64.3	35.7
理 学 部	185	599 (208)	186 (53)	43.5	56.5
医 学 部	205	969 (439)	206 (114)	56.3	43.7
歯 学 部	55	351 (119)	55 (24)	21.8	78.2
工 学 部	455	1,384 (192)	479 (70)	47.8	52.2
農 学 部	235	755 (342)	244 (100)	30.7	69.3
水 産 学 部	140	484 (129)	147 (33)	40.8	59.2
合 計	1,945	7,251 (2,878)	2,022 (788)	50.8	49.2

(注) ()内は女子を内数で表す。

(注) 私費外国人学部留学生を除く。

○入学者出身地別内訳(出身高校等所在地による)

(注) その他は、高等学校卒業程度認定試験合格(従前の大学入学資格検定合格を含む。)及び在外教育施設出身の入学者を表す。



■大学院(志願者・受験者・合格者状況)

【修士課程・博士前期課程】

(平成19年度)

研究科	専攻	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数			
			一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人	留学生	推薦	計	一般	社会人		留学生	推薦	計
人文社会科学研究科	法学	5	5	5	0	-	10	5	5	0	-	10	3	2	0	-	5	4
	経済社会システム	10	12	6	3	-	21	9	6	3	-	18	5	5	2	-	12	11
	人間環境文化論	5	16	0	6	-	22	16	0	6	-	22	11	0	4	-	15	13
	国際総合文化論	8	8	2	1	-	11	8	2	1	-	11	5	2	1	-	8	8
	計	28	41	13	10	-	64	38	13	10	-	61	24	9	7	-	40	36
教育学研究科	学校教育	6	7	3	4	-	14	7	3	4	-	14	6	3	3	-	12	10
	教科教育	32	21	5	3	-	29	20	5	3	-	28	19	5	3	-	27	24
	計	38	28	8	7	-	43	27	8	7	-	42	25	8	6	-	39	34
保健学研究科	看護学	12	1	6	0	-	7	1	6	0	-	7	1	6	0	-	7	7
	理学療法学・作業療法学	10	6	4	0	-	10	6	4	0	-	10	6	4	0	-	10	10
	計	22	7	10	0	-	17	7	10	0	-	17	7	10	0	-	17	17
理工学研究科	機械工学	27	39	0	1	9	49	38	0	1	9	48	37	0	1	9	47	46
	電気電子工学	24	36	0	0	12	48	36	0	0	12	48	33	0	0	12	45	43
	建築学	18	24	0	0	4	28	23	0	0	4	27	17	0	0	4	21	20
	応用化学工学	18	22	0	0	1	23	22	0	0	1	23	21	0	0	1	22	21
	海洋土木工学	15	25	0	0	1	26	23	0	0	1	24	23	0	0	1	24	19
	情報工学	18	31	0	4	5	40	30	0	4	5	39	24	0	3	5	32	31
	生体工学	15	27	0	0	3	30	27	0	0	3	30	22	0	0	3	25	22
	ナノ構造先端材料工学	28	33	0	2	6	41	31	0	2	6	39	29	0	2	6	37	32
	数理情報科学	12	13	0	1	1	15	13	0	1	1	15	13	0	1	1	15	11
	物理科学	11	23	0	1	1	25	23	0	1	1	25	17	0	1	1	19	17
	生命化学	15	20	0	0	-	20	18	0	0	-	18	16	0	0	-	16	12
	地球環境科学	15	23	-	1	-	24	22	-	1	-	23	21	-	0	-	21	19
	計	216	316	0	10	43	369	306	0	10	43	359	273	0	8	43	324	293
農学研究科	生物生産学	26	34	1	3	-	38	34	1	3	-	38	29	1	3	-	33	31
	生物資源化学	21	27	4	1	-	32	27	4	1	-	32	26	4	1	-	31	27
	生物環境学	22	20	5	0	-	25	19	5	0	-	24	16	5	0	-	21	18
	計	69	81	10	4	-	95	80	10	4	-	94	71	10	4	-	85	76
水産学研究科	水産学	32	28	1	7	-	36	27	1	7	-	35	26	1	7	-	34	34
医歯学総合研究科	医科学	20	19	5	0	-	24	19	5	0	-	24	19	5	0	-	24	20
	合計	425	520	47	38	43	648	504	47	38	43	632	445	43	32	43	563	510

教育学研究科の「社会人」は、「現職教員等」を表す。

【博士課程・博士後期課程】

研究科	専攻	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数
			一般	社会人	留学生	計	一般	社会人	留学生	計	一般	社会人	留学生	計	
人文社会科学研究科	地域政策科学	6	1	5	0	9	1	5	0	9	1	4	0	8	8
保健学研究科	保健学	6	2	4	1	7	1	4	1	6	1	4	1	6	6
理工学研究科	物質生産工学	7	2	2	0	4	2	2	0	4	2	2	0	4	3
	システム情報工学	7	2	2	1	5	2	2	1	5	2	2	1	5	5
	生命物質システム	8	3	0	4	7	3	0	4	7	3	0	4	7	7
	ナノ構造先端材料工学	12	6	3	1	10	6	3	1	10	6	3	1	10	10
	計	34	13	7	6	26	13	7	6	26	13	7	6	26	25
医歯学総合研究科	健康科学	36	18	12	4	34	18	12	4	34	18	12	4	34	32
	先進治療科学	58	9	17	1	27	9	17	1	27	9	17	1	27	26
	計	94	27	29	5	61	27	29	5	61	27	29	5	61	58
連合農学研究科	生物生産科学	8	3	0	3	6	3	0	3	6	3	0	3	6	6
	生物資源利用科学	7	2	2	3	7	2	2	3	7	2	2	3	7	6
	生物環境保全科学	4	4	0	5	9	4	0	5	9	4	0	5	9	9
	水産資源科学	4	0	0	4	4	0	0	4	4	0	0	4	4	4
	計	23	9	2	15	26	9	2	15	26	9	2	15	26	25
	合計	163				129				128				127	122

人文社会科学研究科の下段は、進学者選考の数を表す。

【専門職学位課程】

研究科	専攻	入学定員	志願者数				受験者数				合格者数				入学者数
			一般	社会人	留学生	計	一般	社会人	留学生	計	一般	社会人	留学生	計	
司法政策研究科	法曹実務	30	94	-	-	94	68	-	-	68	35	-	-	35	30
臨床心理学研究科	臨床心理学	15	47	3	0	50	44	3	0	47	17	0	0	17	15
	合計	45	141	3	0	144	112	3	0	115	52	0	0	52	45

卒業(修了)数・就職状況

■卒業生数・就職状況

(平成19年5月1日現在)

学部	卒業生数 (累計)	平成 18年度 卒業生数	就 職 状 況																
			就 職 希望 者 数	就 職 者 数	就 職 率 (%)	業 種 別						地 区 別							
						農林業 漁業	建設製造 電気ガス水道 情報通信運輸 卸売・小売	金融保険 医療福祉 教育学習 サービス	公務員	教員	その他	関 東	中 部	近 畿	中 国	四 国	九 州	鹿児島 島 内	その他
法文学部	12,525	408	303	276	91.1		95	130	28	10	13	47	1	10		2	75	131	10
教育学部	16,458	278	213	176	82.6		17	40	13	104	2	13	3	5	3	2	29	119	2
理学部	5,454	191	110	100	90.9		52	29	4	11	4	19	6	5	3	2	24	41	
医学部	5,093	230	126	120	95.2			120				5	2	7	3	1	46	56	
歯学部	1,528	71																	
工学部	14,214	460	198	188	94.9		155	19	7	1	6	73	11	22	5	2	41	34	
農学部	10,664	219	144	138	95.8	7	56	38	16	3	18	34	11	15	7	3	31	30	7
水産学部	6,464	134	83	80	96.4	2	52	16	4	1	5	27	4	10	4		21	14	
(文理学部)	2,651																		
合 計	75,051	1,991	1,177	1,078	91.6	9	427	392	72	130	48	218	38	74	25	12	267	425	19

- (注)1. 卒業生数(累計)は昭和24年5月本学設置以降の全数を計上した。ただし、医・工学部については昭和30年国立移管以降について計上した。
 2. 卒業生数は9月卒業生を含む。
 3. 医学部の就職状況は保健学科を表す。

■大学院修了者数

(平成19年5月1日現在)

研究科	修士課程(博士前期)		博士課程(博士後期)		専門職学位課程	
	修了生数 (累計)	平成18年度 修了生数	修了生数 (累計)	平成18年度 修了生数	修了生数 (累計)	平成18年度 修了生数
人文社会科学研究科	302	42	5	1		
教育学研究科	448	36				
保健学研究科	74	24				
医学研究科※			545	26		
歯学研究科※			111	0		
理工学研究科	3,803	259	244	24		
農学研究科	1,578	56				
水産学研究科	916	29				
医歯学総合研究科	30	11	16	16		
司法政策研究科					29	29
連合農学研究科			488	34		
(法学研究科)	123					
(人文科学研究科)	120					
(理学研究科)	539					
計	7,933	457	1,409	101	29	29

- (注)1. 博士課程については、単位取得後退学した者は含まない。
 2. 印は旧研究科である。

学位授与状況

(平成19年5月1日現在)

研究科	修士課程		博士課程				専門職学位課程	
	累計	平成18年度授与	累計	平成18年度授与	累計	平成18年度授与	累計	平成18年度授与
人文社会科学研究科	302	42	6	2				
教育学研究科	448	36						
保健学研究科	74	24						
医学研究科			654	33	1,440	21		
歯学研究科			135	2	60	1		
理工学研究科	3,803	259	264	27	47	5		
農学研究科	1,578	56						
水産学研究科	916	29						
医歯学総合研究科	30	11	16	16				
司法政策研究科							29	29
連合農学研究科 (法学研究科)	123		577	40	98	17		
(人文科学研究科)	120							
(理工学研究科)	539							
計	7,933	457	1,652	120	1,645	44	29	29

(注)1. 医学研究科については、昭和30年国立移管後の数を計上した。

奨学生状況

(平成19年5月1日現在)

学部・研究科等	在学生数	日本学生支援機構		各種団体 育英会	計	在学生に対する 百分率	
		第一種奨学生	第二種奨学生				
学部	法文学部	1,904	297	547	46	890	46.7
	教育学部	1,252	192	348	24	564	45.0
	理学部	840	141	222	12	375	44.6
	医学部	1,088	162	290	29	481	44.2
	歯学部	342	49	99	5	153	44.7
	工学部	2,211	311	606	43	960	43.4
	農学部	1,113	152	293	23	468	42.0
	水産学部	618	66	165	4	235	38.0
計	9,368	1,370	2,570	186	4,126	44.0	
大学院(修士課程)	人文社会科学研究科	93	13	8		21	22.6
	臨床心理学研究科	15	0	0		0	0.0
	教育学研究科	83	10	3		13	15.7
	保健学研究科	48	5	1		6	12.5
	理工学研究科	578	108	54	2	164	28.4
	農学研究科	131	18	9		27	20.6
	水産学研究科	58	8	3		11	19.0
	医歯学研究科	36	3	2		5	13.9
計	1,027	165	80	2	247	24.1	
大学院(博士課程)	人文社会科学研究科	26	4	1		5	19.2
	保健学研究科	19	1	0		1	5.3
	理工学研究科	98	16	0		16	16.3
	医歯学総合研究科	341	13	5		18	5.3
	医学研究科	76	0	0		0	0.0
	歯学研究科	1	0	0		0	0.0
	連合農学研究科	142	23	0		23	16.2
計	703	57	6	0	63	9.0	
司法政策研究科	86	16	20	4	40	46.5	
合計	11,199	1,608	2,676	192	4,476	40.0	

<備考：奨学金月額> 第一種奨学生 学部生：自宅通学 45,000円/自宅外通学 51,000円 大学院生：修士・博士前期課程 88,000円/博士後期課程 122,000円
 日本学生支援機構 第二種奨学生 学部生：30,000・50,000・80,000・100,000円 大学院生：50,000・80,000・100,000・130,000円
 (平成19年度入学者) 各種団体育英会 10,000～55,000円

外国人留学生

■出身国(地域)別(36カ国・地域316名)

(平成19年5月1日現在)

地域	国(地域)	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
アジア州	インド						1				1①	2①
	インドネシア	1		5⑤	2①		3②	1①	2	7⑤		21⑭
	オマーン									1		1
	スリランカ									1①		1①
	タイ						2	2		4④		8④
	パキスタン				1①		1①		1①	1①		4④
	バングラディシュ			2②	1①			1①	1①	8⑧		13⑬
	フィリピン			2①			2②			3③	4④	11⑩
	ベトナム	1①	1				1		1①	3③	1①	8⑥
	マレーシア						15			2		17
	ミャンマー			2	1①		2②	1①		3③	1①	10⑧
	韓国	4	5	1	6	2	5③	3	2①	2①		30⑤
	台湾	4			2		1					7
中国	30①	22①	6	14①		41①	7	9	17⑧		146⑫	
ネパール				1①							1①	
レバノン				1							1	
大洋州	オーストラリア		1				1①					2①
	ソロモン諸島			1①								1①
アフリカ州	エジプト				2①		1①			1①		4③
	カメルーン										1①	1①
	ケニヤ共和国								1①			1①
	コートジボワール									1①		1①
	コンゴ民主共和国			2②								2②
	タンザニア							1①		2②		3③
	ナイジェリア									1①		1①
	マダガスカル									1①		1①
リビア									1①		1①	
セネガル										1①	1①	
欧州	ドイツ	1										1
	スペイン										1①	1①
	英国										1①	1①
南アメリカ州	グアテマラ									1		1
	コロンビア				3②					1①		4③
	ブラジル	1		1①		1	2					5①
	ペルー		1		1							2
パラグアイ						1①					1①	
合計		42②	30①	22⑫	35⑨	3	79⑭	16④	17⑤	61⑮	11⑪	316⑯

■在籍身分別

(平成19年5月1日現在)

在籍身分	法文学部	教育学部	理学部	医学系	歯学系	工学部	農学部	水産学部	連合農学研究科	留学生センター	合計
大学院 博士[博士後期]4				7③							7③
〃 〃 3	2		3②	3①		6②			21⑭		35⑱
〃 〃 2	1①		3③	4③		5④			26⑰		39㉓
〃 〃 1	2①		4③	7②		4②			14⑭		31㉒
〃 修士[博士前期]2	7	6	4③	2	1	7②	5②	4②			36⑨
〃 〃 1	6	6	2①			6①	4②	7③			31⑦
学部	6										0
〃 〃 5				3							3
〃 〃 4	3		1	1		10②	2	1			18②
〃 〃 3	5	2	2	1		19	1				30
〃 〃 2	1			3		12①		1			17①
〃 〃 1	1	1	1	2	2	8		1			16
研究生	3	7	1				1	1			13
科目等履修生	2										2
特別研究学生				1		1	1				3
特別聴講学生	9	8①	1	1		1	2	2			24①
日本語研修コース生										11⑪	11⑪
合計	42②	30①	22⑫	35⑨	3	79⑭	16④	17⑤	61⑮	11⑪	316⑯

大学院連合農学研究科61名の内訳(鹿大32⑮ 宮大6 佐大12 琉大11)

印内は内数で国費留学生

■経費種別

(平成19年5月1日現在)

種 別	大学院生		学部学生		研 究 生		科目等履修生		特別研究学生		特別聴講学生		日本語研修コース生		合 計
	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	大学院生	学部学生	
国 費 留 学 生	88 (27)										1 (1)		11 (2)	100 (30)	
マレーシア政府派遣		12 (6)												12 (6)	
鹿児島県費留学生					2 (1)									2 (1)	
日韓共同理工学部留学生		3												3	
短期推進制度による留学生									3 (3)		23 (18)			26 (21)	
私 費 留 学 生	91 (39)	69 (33)	11 (3)	2 (2)										173 (77)	
計	179 (66)	84 (39)	13 (4)	2 (2)	3 (3)	24 (19)	11 (2)	316 (135)							

()は女子で内数で示す。

■学部別

(平成19年5月1日現在)

学 部	国 費		外国政府派遣		私 費 等		合 計
	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	学部学生	研究生等	
法 文 学 部					10 (7)	10 (9)	20 (16)
教 育 学 部		1 (1)			3 (2)	13 (7)	17 (10)
理 学 部					4 (1)	2 (2)	6 (3)
医 学 部					10 (5)	1 (1)	11 (6)
歯 学 部					2		2
工 学 部			12 (6)		37 (14)	1	50 (20)
農 学 部					3 (3)	3 (1)	6 (4)
水 産 学 部					3 (1)	3	6 (1)
合 計		1 (1)	12 (6)		72 (33)	33 (20)	118 (60)

()内は女子で内数で示す。
日韓共同理工系は私費に含む。

■大学院別

(平成19年5月1日現在)

研 究 科	国 費			外国政府派遣			私 費 等			合 計
	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	
人文社会科学研究科		2					13 (7)	3 (2)	4 (3)	22 (12)
教育学研究科							12 (7)		1 (1)	13 (8)
医歯学総合研究科		9 (5)					2 (1)	11 (7)	1 (1)	23 (14)
保健学研究科							1 (1)	1 (1)		2 (2)
理工学研究科	7 (4)	16 (3)					12 (2)	9 (2)	1 (1)	45 (12)
農学研究科	4 (2)						5 (3)		1 (1)	10 (6)
水産学研究科	5 (1)						6 (1)			11 (2)
連合農学研究科		45 (12)						16 (5)		61 (17)
合 計	16 (7)	72 (20)					51 (22)	40 (17)	8 (7)	187 (73)

()内は女子で内数で示す。

■日本語教育施設

(平成19年5月1日現在)

学内共同教育研究施設	国 費			外国政府派遣			私 費 等			合 計
	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	修士・博士前期	博士・博士後期	研 究 生 等	
留学生センター			11 (2)							11 (2)

国際交流協定大学

■大学間学術交流協定校(14カ国(地域)・43機関)

(平成18年度実績)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
中国	湘潭大学	12(5)		
	雲南農業大学	12(1)	3	
	湖南農業大学	1	1(1)	2
	中南大学	7(1)	3	1
	中国医科大学	2(2)	1	
	湖南大学			
	北京工業大学	2(2)	7(1)	1
	東北師範大学	1	1	
	中国人民大学		3(1)	2
	中国科学院昆明植物研究所		1	1
韓国	東北大		1(1)	
	全北大学	5(4)	20(16)	
	群山大学		3	
	済州大学	65(38)		
	群山看護大学	2(2)		
	圓光大学	21(19)		
	江陵大学	43(42)	15(14)	1
	江原大学	4(3)		
インドネシア	カルナタカ国立工科大学	1(1)	1	
	マレーシアトレンガヌ大学		3(1)	1
台湾	淡江大学	4(2)	8(2)	1
	メジヨ-大学	1(1)	6(4)	
ベトナム	ハノイ農業大学		1	
	ハノイ貿易大学	2(2)		
南太平洋12カ国・地域	南太平洋大学	1	7(3)	2
オーストラリア	パプアニューギニア大学			
	ニューイングランド大学	2(2)	2(2)	
	シドニー工科大学	1(1)	4(4)	
	西オーストラリア大学		1	1
アメリカ	西オーストラリア地質調査所			
	シヨ-ジア大学	1(1)	16(13)	
	マイアミ大学	3(3)	4(4)	1
	グアム大学	2	3	
コロンビア	アルフレッド大学	6	7	
	西シヨ-ジア大学			
スベイン	バジエ州立大学			
	バレンシア工芸大学	2(2)	1(1)	

■部局間学術交流協定校(10カ国(地域)・18機関)

国・地域	締結機関名	受入数	派遣数	共同研究
法文学部				
ドイツ	ミュンヘン大学東アジア研究部日本センター	2(2)	2(2)	
韓国	釜山大学校社会科学大学	2	1	
教育学部				
ドイツ	ボン大学哲学部			
理学部				
インドネシア	インドネシア科学院生物学研究センター	2(1)	8	1
歯学部				
台湾	王立プリンスオブソクラー大学歯学部	1	1(1)	1
工学部				
中国	南開大学情報技術科学学院			
台湾	成功大学工学院		3	
タイ	チュラロンコン大学石油及石油化学大学院			
イラン	イラン理工科大学			
農学部				
インドネシア	ディボネゴロ大学農畜産学部	1(1)		
タイ	国立モンクット王トンプリ工科大学生物資源工学研究科	1(1)		
タンザニア	ソコイネ農科大学	3(3)	2(2)	
水産学部				
中国	大連水産学院			
韓国	韓国海洋研究所			
フィリピン	フィリピン大学ヴィサヤ校	21(1)	45(16)	1
タイ	東南アジア漁業開発センター			
カセサート	カセサート大学水産学部		3	
医歯学総合研究科				
スベイン	スペイン自然科学博物館古生物学部門			1

受入数・派遣数欄の()は、学生交流数で内数。

研究者交流状況

■外国人研究者受入状況

(平成18年度)

区 分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医歯学 総合研究科	学 共 施設等	合 計
外国人研究員									1	2	3
外国人教員等	4	1		1	3	1	2		4	4	20
国際協力機構(JICA)による研修員							20		11		31
国際協力銀行(JBIC)等による研修員		1			1	1	5				8
日本学術振興会(JSPS) 科学研究費補助金			1			1	11		6		19
日本学生支援機構(JASSO)			1						1	4	6
外国政府・機関等支弁による研究員	1	1	6		2	3	5		1		19
その他の研究員	3	2	2		4	7	1	1	20	2	42
視察・来訪等		6	1						1	35	43
合 計	8	11	11	1	10	14	45	1	45	47	193

■教職員の海外渡航状況

【地域別】

(平成18年度)

区 分	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医歯学 総合研究科	司法政策 研究科	学 共 施設等	合 計
アジア	40	15	29	4	19	34	47	40	10	52		21	311
中近東					1		2			3		1	7
大洋州	3	1	6		8	2	4	2		5	1	5	37
アフリカ			4				1			3			8
欧州	9	13	15		13	21	3	3	2	22		3	105
北米	2	2	4	3	34	15	14	5	11	43	1	26	159
中南米					2		2	1		1			6
合 計	54	31	58	7	77	72	73	51	23	129	2	56	633

【経費別】

(平成18年度)

経費の種類	法文学部	教育学部	理学部	医学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医歯学 総合研究科	司法政策 研究科	学 共 施設等	合 計
文部科学省		1	1			1	1	10	2	1		11	28
その他の省庁	3		6							2			11
国際協力機構(JICA)				1			1	3	1				6
日本学術振興会(JSPS)			2			1	2	11		2		1	19
科学研究費補助金	20	8	20	2	4	11	15	4	3	27		6	120
科学技術振興機構(UST)							1		1	1			3
鹿児島大学研究費	18	10	8	1	3	12	20	5		7		10	94
委任経理金等	1	3	4	2	63	40	23	14	11	64	2	5	232
外国の機関等	1	3	5			4	4	3	5	1		6	32
その他	11	6	12	1	7	3	6	1		24		17	88
合 計	54	31	58	7	77	72	73	51	23	129	2	56	633

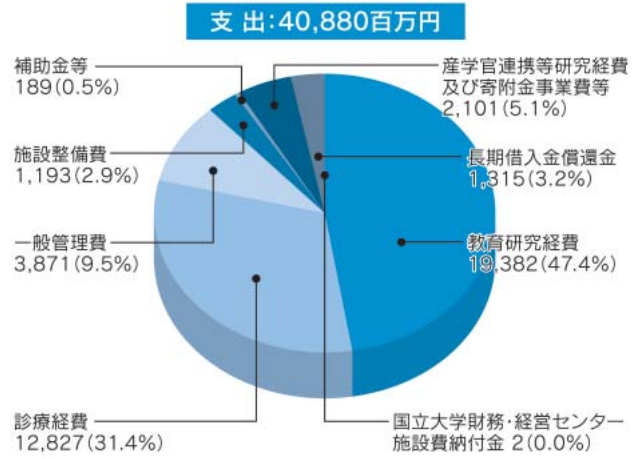
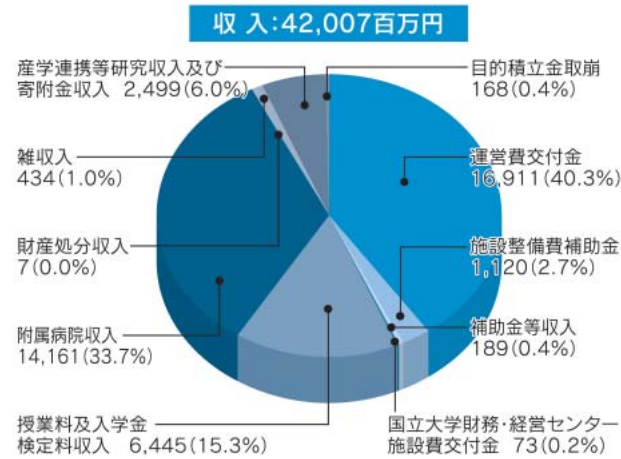
部局別国際共同研究実施件数

(平成18年度)

法文学部	教育学部	理学部	医・歯学 附属病院	工学部	農学部	水産学部	理工学 研究科	医歯学 総合研究科	学 共 施設等	合 計
10	9	27	3	9	18	9	2	54	31	172

財務状況

■平成18年度収入・支出決算額



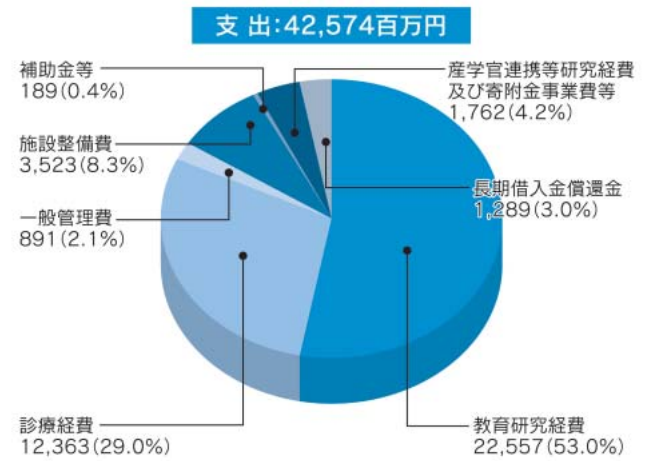
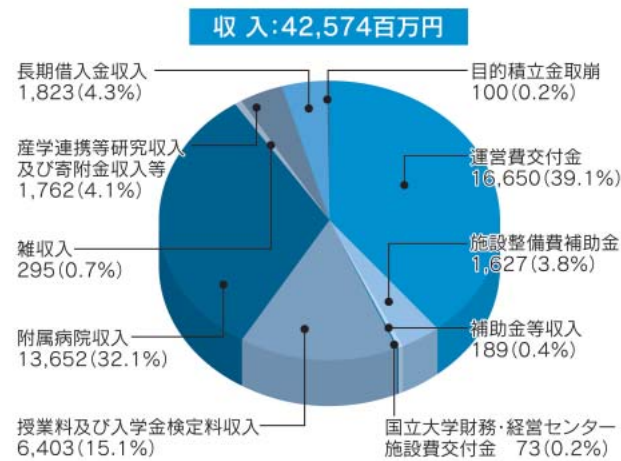
(単位:百万円)

収入	金額
運営費交付金	16,911
施設整備費補助金	1,120
補助金等収入	189
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73
授業料及入学金検定料収入	6,445
附属病院収入	14,161
財産処分収入	7
雑収入	434
産学連携等研究収入及び寄附金収入	2,499
目的積立金取崩	168
合計	42,007

(単位:百万円)

支出	金額
教育研究経費	19,382
診療経費	12,827
一般管理費	3,871
施設整備費	1,193
補助金等	189
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,101
長期借入金償還金	1,315
国立大学財務・経営センター施設費納付金	2
合計	40,880

■平成19年度予算



(単位:百万円)

収入	金額
運営費交付金	16,650
施設整備費補助金	1,627
補助金等収入	189
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73
授業料及び入学金検定料収入	6,403
附属病院収入	13,652
雑収入	295
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,762
長期借入金収入	1,823
目的積立金取崩	100
合計	42,574

(単位:百万円)

支出	金額
教育研究経費	22,557
診療経費	12,363
一般管理費	891
施設整備費	3,523
補助金等	189
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,762
長期借入金償還金	1,289
合計	42,574

外部資金受入状況

■科学研究費補助金

【種目別採択状況】

(平成19年度) 単位:千円)

研究種目	件数	金額	研究種目	件数	金額
基盤研究(S)	1	16,000	萌芽研究	25	35,500
基盤研究(A)	5	65,900	若手研究(A)	4	24,500
基盤研究(B)	50	244,400	若手研究(B)	82	97,800
基盤研究(C)	145	192,700	若手研究スタートアップ	1	1,290
特定領域研究	5	33,100	合計	318	711,190

【学部等別採択状況】

(単位:千円)

学部等	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
学内共同教育研究施設等	12	36,300	11	33,200	14	50,700
法文学部	16	21,500	16	22,000	16	23,600
教育学部	10	12,500	14	18,400	15	15,900
理学部	22	32,800	20	41,300	21	38,500
医学部	14	11,000	10	9,500	9	16,100
医学部・歯学部附属病院	43	87,900	30	45,800	38	55,690
工学部	36	71,000	43	95,500	35	64,700
農学部	38	58,200	35	52,500	39	105,500
水産学部	14	26,900	11	23,100	8	13,200
大学院人文社会科学研究科	1	1,300	2	2,200	2	2,400
大学院理工学研究科	7	13,700	5	9,900	11	22,700
大学院医歯学総合研究科	92	224,000	103	252,200	107	299,300
大学院司法政策研究科	2	1,400	2	1,200	2	1,200
大学院連合農学研究科	1	600	1	600	1	1,700
合計	308	599,100	303	607,400	318	711,190

(注) 件数及び金額は、研究計画書提出時の所属部局で計上。

■厚生労働科学研究費補助金

(単位:千円)

研究事業名	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
エイズ対策研究事業	1	35,000 (5,100)				
こころの健康科学研究事業	1	25,000	1	25,000		
医療機器開発推進研究事業					1	42,488 (12,746)
基礎研究成果の臨床応用推進研究事業			1	67,500 (20,250)	1	35,471 (10,641)
健康科学総合研究事業	1	4,900				
食品の安心・安全確保推進研究事業	1	3,500	1	3,000		
政策創薬総合研究事業			1	13,000		
創薬等ヒューマンサイエンス総合研究事業	1	13,000				
第3次対がん総合戦略			1	24,000	1	21,300
萌芽的先端医療技術推進研究事業	1	45,000 (13,500)	1	38,250 (11,475)		
合計	6	126,400 (18,600)	6	170,750 (31,725)	3	99,259 (23,387)

下段) 書きは、間接経費で外数

■独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構助成金

(単位:千円)

研究事業名	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
産業技術研究助成事業	1	14,150 (4,245)	1	8,390 (2,517)	1	1,350 (405)

下段) 書きは、間接経費で外数

■奨学寄附金

(単位:千円)

学 部 等	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局	0	0	11	8,390	8	7,550
学内共同教育研究施設等	25	20,790	18	11,041	19	134,481
法 文 学 部	4	2,010	1	360	4	3,500
教育学部(附属学校含む)	14	10,600	16	9,810	10	5,550
理 学 部	13	12,150	18	14,279	13	12,009
医 学 部	22	5,980	16	4,730	25	8,437
歯 学 部	1	300	2	400	1	100
工 学 部	91	81,619	84	61,473	101	79,111
農 学 部(附属農場含む)	60	50,131	62	57,224	146	190,283
水 産 学 部	40	23,066	41	27,770	27	15,882
大学院医歯学総合研究科	779	705,400	793	761,289	813	826,458
医学部・歯学部附属病院	144	86,503	119	79,127	112	73,563
合 計	1,193	998,549	1,181	1,035,893	1,279	1,356,924

■受託研究 (医薬品等の臨床研究、受託試験、病理組織検査等を含む。)

(単位:千円)

学 部 等	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局	2	21,554	2	23,639	1	41,053
学内共同教育研究施設等			2	1,800	2	21,254
法 文 学 部	1	1,000	2	1,685	1	1,300
教 育 学 部					2	5,522
理 学 部	1	1,500	1	1,575	5	50,624
医 学 部						
歯 学 部						
工 学 部	148 (132)	82,486 (8,603)	189 (169)	108,716 (11,438)	182 (153)	247,328 (9,726)
農 学 部	18	75,125	176 (157)	42,690 (2,276)	403 (368)	106,535 (4,484)
水 産 学 部	13	21,258	12	16,572	20	73,658
大学院医歯学総合研究科	179 (137)	144,189 (33,406)	196 (160)	120,254 (40,187)	213 (171)	145,460 (46,875)
医学部・歯学部附属病院	109 (102)	143,029 (136,806)	123 (117)	134,113 (128,267)	129 (118)	135,422 (129,081)
合 計	471 (371)	490,141 (178,815)	703 (603)	451,044 (182,168)	958 (810)	828,156 (190,166)

医薬品等の臨床研究、受託試験、病理組織検査等分を():内数で記載

■共同研究

(単位:千円)

学 部 等	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
事 務 局					1	500
学内共同教育研究施設等	3	200	1	3,000	4	5,000
教育学部(附属学校含む)	2	2,315	1	3,150	2	4,150
理 学 部	2	920	8	4,395	10	2,880
医学部・歯学部附属病院	2	1,053	1	53	1	0
医 歯 学 総 合 研 究 科	9	14,170	11	15,790	22	33,368
工 学 部	37	57,488	40	63,503	51	61,035
農 学 部	29	36,062	26	47,914	26	32,608
水 産 学 部	7	6,340	8	9,050	14	13,550
合 計	91	118,548	96	146,855	131	153,091

上記額は、契約金額ベースで集計。

共同研究契約については、金額の受入がない契約もあり。(必要な経費は各機関で措置する。)

産学官連携

■協定

協定締結相手	協定締結年月日
社団法人鹿児島県工業倶楽部との包括連携協力協定	平成17年10月21日
鹿児島県酒造組合連合会との包括連携協力協定	平成18年 3月 9日
奄美市との包括連携協定	平成18年 3月13日
与論町地域再生計画に伴う旧与論町立診療所の施設設備等の活用に係わる施設の賃貸借料に関する協定	平成18年 3月27日
日本政策投資銀行との連携協定	平成18年 5月31日
垂水市との第4次垂水市総合計画策定に関する協定	平成18年10月18日



▲鹿児島大学ブランド焼酎

■寄附講座

部局名	講座名	設置期間	寄付者名	主な研究内容等
大学院医歯学総合研究科	臨床予防医療講座	平成16年4月1日～平成21年3月31日	(株)新日本科学	<ul style="list-style-type: none"> ●ストレス応答と生体防御機構 ●炎症のメカニズム ●細胞死に関する研究 ●機能的食品と漢方
	医療関節材料開発講座	平成18年6月1日～平成23年5月31日	日本メディカルマテリアル(株)	<ul style="list-style-type: none"> ●人工股関節の開発 ●人工骨頭手術におけるQOL評価 ●最小侵襲手術手技(MIS)の確立と器具の開発
	心筋症病態制御講座	平成18年11月1日～平成21年10月31日	ジェンザイム・ジャパン(株)	<ul style="list-style-type: none"> ●心筋症の疫学、病態、診断及び治療に関する研究 ●虚血性心疾患に対する遺伝子治療細胞治療に関する研究
農学部	焼酎学講座	平成18年4月1日～平成23年3月31日	鹿児島県、鹿児島県酒造組合連合会	<ul style="list-style-type: none"> ●焼酎文化と技術の継承者の育成 ●薩摩焼酎の継続的発展 ●焼酎クラスターの発展

■文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」プログラム

課題名	年度	平成19年度配分予定額(単位:千円)	概要等
かごしまルネッサンスアカデミー	平成18～22年度	48,984	<p>(目的等)</p> <p>食産業従事者等の社会人を対象として、鹿児島県の醸造や発酵を中心とする食文化の創造と食産業の発展に寄与し、地域の再生に資する人材を育成する。本アカデミーは、鹿児島県や県内の多くの企業・団体の協力を得て運営している。</p> <p>(カリキュラム)</p> <p>食の安全管理コース (定員:10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●醸造・発酵関連の食品産業における安全と品質管理等に関する高度技術を持つ人材の養成 <p>経営管理コース (定員:10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●急速な技術革新や市場ニーズの変化に戦略的に対応できる技術マネジメント力を持つ人材の養成 <p>健康・環境・文化コース (定員:30名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●歴史・文化、環境をはじめ、健康・長寿の基礎知識など、食を中心とした鹿児島の魅力を情報発信できる人材の養成

公開講座

(平成19年6月1日現在)

講座名	実施部局	開催期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
日本国憲法の現在 II	法文学部	8/18~9/15(各土) 14:00~15:30	8	3,600	社会人	50	総合教育研究棟 102号
人文学を学び、将来に活かす ~大学の学びと職業観~	法文学部	12/8(土) 10:00~17:00	6	0	高校生、一般	150	法文学部202号
高齢者の積極的健康づくり ~寝たきりにならない、惚けないために~	教育学部	7月以降(未定) 10:00~11:00	5	3,000	鹿児島市内在住の60歳以上の健康な男女	40	教育学部第二体育館
人物デッサン	教育学部	8/4,8/5 9:00~17:00	14.5	5,000	絵画制作経験者	25	教育学部 音楽美術科棟
学校カウンセリング基礎セミナー	教育学部	8/6~8/8 9:00~16:20	18	7,600	現職教員を中心とした教育関係者	60	郡元キャンパス
授業に活かすコンピュータとインターネット	教育学部	8/9~8/10 9:00~16:20	12	6,400	現場教員等の教育関係者	35	教育実践総合センター
地域に"子ども世界"をつくる子ども支援論講座	教育学部	11/1~3/13 月に1,2回(木) 10:00~12:00	15	5,000	成人、父母、特に地域子ども活動 に関心のある方	20	教育学部
広域合併後のまちづくり ~コミュニティ、福祉と公民館~	教育学部	12月~2月の(土) (隔週4回、1日に2講義) 14:00~18:00	15	5,000	まちづくりの担い手、福祉、町内 会や公民館の関係者	20	教育学部
理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学	医学部	6/23(土),7/7(土) 13:30~16:30	6	3,200	理学療法士,作業療法士など	25	保健学科研究棟 運動療法実習室
ストーマリハビリテーションの基本	医学部	7/21 9:30~17:00	6.5	5,400	保健師,助産師,看護師,准看護師	50	保健学科教育研究棟
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (那覇市)	医学部	8/5 9:00~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,市民一般	100	霧島リハビリ テーションセンター
臨床理学療法学講座	医学部	8/25 13:00~18:00	5	5,000	医療従事者・福祉関係者	40	保健学科研究棟5F
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (鹿児島市)	医学部	9/9 9:00~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,市民一般	100	医学部鶴陵会館
ALS療養者の在宅支援	医学部	9/15 9:30~17:00	6.5	5,400	看護職者	45	保健学科研究棟601号
Active Aging-リハビリテーションからケアまで (那覇市)	医学部	11/25 9:00~16:30	6	5,200	医師,看護師,保健師,理学・作業 療法士,ヘルパー,市民一般	100	共済組合自治会館
歯科臨床の勤どころ ~紹介患者への対応から学ぶ~	歯学部	11/10 14:00~18:30	4.5	5,000	歯科医師,歯科衛生士, 歯科技工士,歯科医療関係者	50	鹿屋市医師会館
遺伝子工学、機能性材料、環境工学の現在と展望(仮題)	工学部	11月(大学祭期間中) 未定	3	0	生体工学に関心のある青少年(社会人も可)	30	未定
動物の生命(いのち)と人との係わり ~伴侶動物・愛玩動物(ペット)~	農学部	5/12(土),6/9(土),7/14(土) 13:30~15:30	2	0	市民一般	80	附属動物病院
森林環境教育ワークショップinたかくま	農学部	7月下旬の3日間(未定) 10:00~16:00	23	0	教員ほか	25	高隈演習林
錦江湾洋上で究極の食育体験を!	水産学部	9/15(土) 9:00~15:00	6	0	市民一般	10	附属練習船南星丸
第3回 海岸へ行こう	水産学部	10/13~11/4(休)1日(日)を予定 9:00~17:00	8	0	小学生とその保護者	50	鹿児島県内の海岸
鹿児島の中に日本の未来をみる ~地域産業~	生涯学習教育 研究センター	9/8,9/15 13:00~16:30	7	3,400	市民一般	50	サンエール鹿児島
鹿児島の中に日本の未来をみる ~地域経済~	生涯学習教育 研究センター	9/22,9/29 13:00~16:30	7	3,400	市民一般	50	サンエール鹿児島
大道仮説実験 1	生涯学習教育 研究センター	4/14,5/12,6/9,7/14 14:00~16:00	8	0	小学生以上の子どもの保護者	20組	市立科学館
大道仮説実験 2	生涯学習教育 研究センター	10/13,11/10,12/8,1/12 14:00~16:00	8	0	小学生以上の子どもの保護者	20組	市立科学館
大道仮説実験ワークショップ	生涯学習教育 研究センター	11/24~11/25 9:00~10:30	3	2,600	一般社会人	40	稲盛会館
分子模型づくり講座(中級)	生涯学習教育 研究センター	4/14,5/12,6/9,7/14 10:00~12:00	8	3,600	小学3年生から中学生とその保護者	12組	生涯学習教育 研究センター
科学館で夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	8/16~8/19 10:00~11:30	6	3,200	小学生以上の子どもの保護者	40組	市立科学館
夏休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	8/23~8/26 10:00~11:30	6	3,200	小学生以上の子どもの保護者	50組	生涯学習教育 研究センター
たのしい授業入門講座	生涯学習教育 研究センター	8/27~8/28 9:00~17:00 (28日は16:00まで)	15	5,000	一般社会人および学校教職員	50	教育学部
分子模型づくり講座(初級)	生涯学習教育 研究センター	10/28,11/25,12/16,1/27 10:00~11:30	8	3,600	小学生3年生から中学生	12組	生涯学習教育 研究センター
冬休み 親子孫夫婦でたのしい仮説実験講座	生涯学習教育 研究センター	1/5~1/6 10:00~11:30	3	2,600	小学生以上の子どもの保護者	30組	生涯学習教育 研究センター
親子で冒険 かごしまの海と山	生涯学習教育 研究センター	8月(全2回) 9:30~16:30	14	4,800	小学4年生以上の子どもの保護者	10	錦江湾,高隈演習林
垂水市のまちづくり公開講座	生涯学習教育 研究センター	4月~12月(全9回) 10:00~12:00 (一部13:00まで)	21	6,200	垂水市職員	20	垂水市役所
垂水市の行政経営公開講座	生涯学習教育 研究センター	4月~12月(全9回) 10:00~12:00 (一部13:00まで)	21	6,200	垂水市職員	20	垂水市役所
第1回みんなでつくろう垂水市総合計画 (ステップ1)	生涯学習教育 研究センター	4/28,5/27,6/24 13:00~16:00	9	3,800	垂水市民	60	垂水市会館

(平成19年6月1日現在)

講座名	実施部局	開催期間 開設時間帯	時間数 (時間)	講習料 (円)	受講対象者	募集人員 (人)	開催場所
第2回みんなでつくろう垂水市総合計画 (ステップ2)	生涯学習教育 研究センター	7/22,8/26,9/24 13:00～16:00	9	3,800	垂水市民	60	垂水市会館
第3回みんなでつくろう垂水市総合計画 (ステップ3)	生涯学習教育 研究センター	10/28,11/25 13:00～16:00	6	3,200	垂水市民	60	垂水市会館
垂水のエネルギー資源とまちづくり	生涯学習教育 研究センター	10月(全2回) 10:00～16:00	10	4,000	垂水市民	40	垂水市会館
垂水の水探検とまちづくり	生涯学習教育 研究センター	6月(全2回) 10:00～16:00	10	4,000	垂水市民	40	垂水市会館
垂水の農・水・林・工・商をつなげるまちづくり(1)	生涯学習教育 研究センター	8月(全2回) 10:00～16:00	10	4,000	垂水市民	40	垂水市会館
鹿大キャンパスで遺跡を探る ～土器や石器をさわってみよう～	埋蔵文化財 調査室	10/20(土),10/27(土) 14:00～16:30	5	0	中学生以上の学生および社会人	20	総合教育研究棟 (文系)
生物多様性と小さな進化 ～イネを通してみた世界～	総合研究博物館	12/8(土) 13:30～15:30	2	0	社会人一般、学生	未定	総合教育研究棟
計			378			1,665	

教育支援プログラム

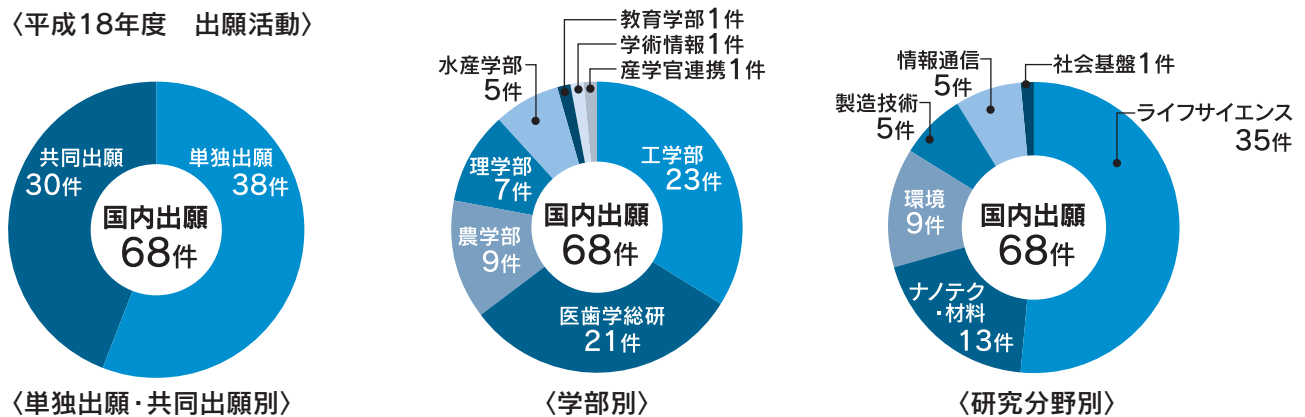
プログラム名	テーマ	部局名(事業実施)	平成19年度 配分予算額 (単位:千円)	年度
特色ある大学教育支援プログラム	ISOを活用した教育システムの展開 ～ユニバーサルアクセス時代への展望～	水産学部	10,000	平成17～20年度
	鹿児島の中に世界をみる 教養科目群の構築	教育センター	15,977	平成18～20年度
現代的教育ニーズ取組支援プログラム	地域マスコミと連携した総合的キャリア教育 ～「地方の視点」から問題発見・ 解決と提言を行う人材の育成～	法文学部	18,000	平成18～20年度
派遣型高度人材育成協同プラン	食の安全マネージャー養成プログラム	大学院農学研究科	7,484	平成17～21年度
地域医療等社会的ニーズに対応した 医療人教育支援プログラム	離島へき地医療を志す医師教育支援 ～双方向・多元的情報網を活用した 先進的医療人教育プログラム～	医学部 歯学部附属病院	24,783	平成17～19年度
地域医療等社会的ニーズに対応した 質の高い医療人養成推進プログラム	離島へき地医療を支える総合小児科医養成 ～総合小児科医と新たな小児医療参画医が 離島へき地小児医療の質を変える～	医学部 歯学部附属病院	22,500	平成18～20年度

特別教育研究経費

区分	事業名	部局名(実施主体)	平成19年度 運営費交付金予算額 (単位:千円)	事業期間
教育改革	外洋島しょにおける高度専門職業的能力を 備えた人材の育成～奄美サテライト教室～	人文社会科学研究科	16,698	平成17～19年度
	稲盛経営技術アカデミーの産学連携教育 プログラムによる人材育成	稲盛経営技術アカデミー	41,400	平成18～20年度
	水圏環境・食資源・島嶼医療分野で国際的に活躍できる 高度専門能力及び技術経営能力を備えた人材の養成	国際戦略本部	20,402	平成18～21年度
	県教育委員会との連携による新しい教員養成 カリキュラムの開発・実施	教育学部	8,259	平成19～21年度
研究推進	異種移植の研究推進事業	フロンティアサイエンス 研究推進センター	18,000	平成17～19年度
	三大学の連携による離島・僻地校での 教科指導力向上のための教育課程の編成	教育学部	7,119	平成19～20年度
拠点形成	離島へき地医療人育成センターの設置	大学院医歯学総合研究科	58,110	平成19～23年度

知的財産管理状況

〈平成18年度 出願活動〉



〈平成18年度末 特許保有件数〉

	登録済	出願中	合計
国内	9	166	175
外国	3	73	76

〈平成18年度末 ライセンス実績件数〉

特許	3
商標	2
ノウハウ	6
合計	11

(注)ノウハウには、ソフトウェア、研究試料を含む
その他技術評価のためのオプション契約10件

学術刊行物

学部	刊行物	発行回数
法文学部	鹿児島大学法文学部紀要(法学論集、経済学論集、人文学科論集)	年2回
	鹿児島大学法文学部国語国文学会誌(国語国文薩摩路)	年1回
	鹿大史学会誌(鹿大史学)	年1回
	鹿児島大学英文学会誌(鹿大英文学)	年1回
	地域政策科学研究	年1回
教育学部	鹿児島大学教育学部研究紀要(人文・社会科学編、自然科学編、教育科学編)	年1回
	鹿児島大学教育学部教育実践研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属小学校研究紀要	年1回
	鹿児島大学教育学部附属特別支援学校研究紀要	隔年1回
理学部	鹿児島大学理学部紀要	年1回
医学部	鹿児島大学医学雑誌	年3回
	鹿児島大学医学部保健学科紀要	年1回
歯学部	鹿児島大学歯学部紀要	年1回
工学部	鹿児島大学工学部研究報告	年1回
農学部	鹿児島大学農学部学術報告	年1回
	Memoirs of the Faculty of Agriculture Kagoshima University	年1回
	鹿児島大学農学部農場研究報告	年1回
	鹿児島大学農学部農場技術調査報告書	隔年1回
	鹿児島大学農学部演習林研究報告	年1回
水産学部	鹿児島大学水産学部紀要	年1回
多島圏研究センター	南太平洋研究	年2回
	南太平洋海域調査研究報告	不定期
総合研究博物館	鹿児島大学総合研究博物館研究報告	不定期
	鹿児島大学総合研究博物館モノグラフ	年1~2回
生涯学習教育研究センター	年報	年1回
留学生センター	年報	年1回

土地・建物・船舶

(平成19年5月1日現在)

区	分	土地 (m ²)	建物(延面積m ²)			備考 (単位 :m ²)	
			木造	非木造	計		
土地 及 び 建 物	郡元地区	事務局	233,630 (22)	33	10,389	10,422	
		保健管理センター		0	561	561	
		附属図書館		0	12,703	12,703	
		法文学部		0	6,930	6,930	
		理学部		0	13,871	13,871	
		工学部		0	40,473	40,473	
		農学部		210	31,774	31,984	
		共通教育部		0	17,616	17,616	
		その他		0	10,914	10,914	
	教育学部	118,265	690	42,008	42,698		
	小計	351,895 (22)	933	187,239	188,172		
	桜ヶ丘地区	医学部	218,726 (2)	0	21,998	21,998	看護師宿舎 (土地4,431 建物4,127)
		歯学部		0	3,115	3,115	
		医歯学総合研究科		0	33,261	33,261	
		医学部・歯学部附属病院		0	58,758	58,758	
		附属図書館		0	1,978	1,978	
		フロンティアサイエンス研究推進センター		0	4,381	4,381	
		亀ヶ原総合グラウンド		0	52	52	
		桜ヶ丘寄宿舎		0	3,122	3,122	
	小計	218,726 (2)	0	126,665	126,665		
	下荒田地区	水産学部地区	49,153	93	12,057	12,150	宿舎 (土地3,382 建物2,028)
		国際交流会館(1号館)		0	1,430	1,430	
		国際交流会館(2号館)		0	1,259	1,259	
		外国人研究者宿泊施設		0	502	502	
		実証棟		0	185	185	
	小計	49,153 (0)	93	15,433	15,526		
	その他	唐湊寄宿舎	24,696	0	5,694	5,694	その他宿舎 (土地25,234 建物15,338)
唐湊果樹園		72,682	0	1,015	1,015		
唐湊林園		9,957	19	0	19		
寺山自然教育研究施設		301,248	0	831	831		
教育学部附属特別支援学校		16,776	509	3,058	3,567		
桜島火山観測点		297	0	31	31		
霧島リハビリテーションセンター		15,425 (123)	6	4,564	4,570		
高隈演習林		30,618,658	88	1,535	1,623		
佐多演習林		2,975,406	0	166	166		
入来牧場		1,478,451 (25)	0	3,497	3,497		
垂水実験地		4,622	68	0	68		
桜島熔岩実験場		372,713	0	0	0		
指宿植物試験場		40,907	313	2,246	2,559		
東町ステーション		16,902	0	1,183	1,183		
鴨池臨海地		4,990 (94)	0	1,642	1,642		
職員会館及び外国人宿泊施設		955	0	717	717		
磯艇庫		407 (202)	0	243	243		
谷山ふ頭		0 (776)	0	0	0		
平川艇庫		0 (595)	0	208	208		
甌島観測点		0 (49)	0	24	24		
伊集院観測点		0 (7)	0	0	0		
屋久島観測点		0 (114)	0	40	40		
串間観測点		0 (58)	0	58	58		
紫尾観測点		0 (58)	0	58	58		
黒島観測点	0 (58)	0	58	58			
佐多観測点	0 (58)	0	11	11			
高岡観測点	0 (106)	0	40	40			
吉松観測点	0 (47)	0	0	0			
田代観測点	0 (6)	0	0	0			
その他	0 (279)	0	598	598			
小計	35,955,092 (2,655)	1,003	27,517	28,520			
合計		36,574,866 (2,679)	2,029	356,854	358,883	宿舎(土地35,981 建22,382)	

(注) 1.土地欄()内数量は借用地
2.各地区土地及び建物数量には備考欄宿舎の数量は含まない。

船名	トン数(トン)	機関	馬力	長さ(m)	幅(m)	深さ(m)	建造年月日
かごしま丸	1,292.75	ディーゼル	2,200	62.70	12.60	5.45	昭和56年10月30日
南星丸	175.00	〃	1,800	34.20	7.50	3.30	平成14年11月28日

郡元キャンパス

- 法文学部
- 教育学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部
- 大学院司法政策研究科
- 大学院臨床心理学研究科
- 大学院連合農学研究科



- 1 事務局
- 2 保健管理センター
- 3 事務局車庫、電話交換室、埋蔵文化財調査室
- 4 農学部共通棟(管理室・講義室・学生実験室)
- 5 // 研究棟A(獣医学科実験研究室)
- 6 // 附属動物病院
- 7 // 研究棟C(生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 8 // 研究棟E(生物環境学科実験研究室・附属演習林)
- 9 // 研究棟D
(生物生産学科・生物資源化学科・生物環境学科実験研究室)
- 10 共同利用棟
(生物生産学科実験研究室・農業経営経済学研究室)
- 11 農学部研究棟B(獣医学科)
- 12 遺伝子実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター・アイソトープ総合実験室)
- 13 RI実験施設
- 14 農学部温室
- 15 // 植物研究実験施設(温室)
- 16 // 硝子室
- 17 // 附属農場動物飼育棟
- 18 // 附属農場研究実習棟
- 19 // 低温貯蔵実験棟
- 20 // 水理実験棟
- 21 // 昆虫飼育棟
- 22 変電所
- 23 ボイラー棟・廃液処理施設
- 24 中央食堂
- 25 工学部中央実験工場
- 26 // 機械工学科第三実験棟
- 27 // 機械工学科2号棟
- 28 // 建築学科棟
- 29 // 電気電子工学科棟
- 30 // 機械工学科第一実験棟
- 31 // 機械工学科1号棟
- 32 // 応用化学工学科1号棟
- 33 // 機械工学科第二実験棟
- 34 // 応用化学工学科2号棟
- 35 // 海洋波動実験棟
- 36 // 薬品庫
- 37 // 海洋土木工学科棟

- 38 工学部情報工学科棟
- 39 // 共通棟(生体工学科・稲盛経営技術アカデミー)
- 40 // 管理棟
- 41 稲盛会館
- 42 産学官連携推進機構棟1
- 43 産学官連携推進機構棟2(ベンチャービジネスラボラトリー)
- 44 倉庫
- 45 総合研究博物館
- 46 理学部1号館(管理室・物理科学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)、理系先端研究棟
- 47 理学部2号館(数情報科学科・生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 48 理学部3号館
(生命化学科・地球環境科学科・実験研究室・講義室)
- 49 理工系総合研究棟
(フロンティアサイエンス研究推進センター・機器分析室)
- 50 学術情報基盤センター
- 51 大学会館(1・2・4号館)
- 52 // (3号館)
- 53 共通教育棟1号館
(管理室・講義室・教育センター・就職支援センター)
- 54 // 2号館(文科研究室)
- 55 // 3号館(理科研究室)・留学生センター
- 56 // 4号館(理科研究室)
- 57 中央図書館
- 58 法文学部1号館(管理・研究・講義棟)
- 59 // 2号館(講義棟)
- 60 // 3号館(講義棟)
- 61 課外活動共用施設1(サークル棟)
- 62 第一体育館
- 63 第二体育館

地区別建物等配置図 郡元キャンパス



- ① 北辰通り(大正4年第七高等学校第14回記念祭歌「北辰斜めに」に由来)
- ② 銀杏並木通り
- ③ 稲盛通り(稲盛和夫京セラ名誉会長の寄贈の稲盛会館にちなんだもの)
- ④ 田園通り(附属農場越しに桜島が望めます。)
- ⑤ みのりの小径
- ⑥ 本部前・緒方通り(初代学長 緒方健三郎氏に由来)
- ⑦ 植物園通り
- ⑧ ふれあい通り
- ⑨ 教育学部通り
- ⑩ 玉利通り(鹿児島高等農林学校初代校長 玉利喜造博士に由来)
- ⑪ 工学部通り
- ⑫ 理学部通り
- ⑬ 森の小径
- ⑭ 法文学部通り

- ⑥4 教育学部武道場
- ⑥5 // 体育科実験研究棟
- ⑥6 // 管理棟・理系研究棟
- ⑥7 // 第一講義棟
- ⑥8 // 実習棟
- ⑥9 // 第二講義棟・生涯学習教育研究センター
- ⑦0 // 文系研究棟
- ⑦1 // 音楽美術科棟
- ⑦2 // 附属教育実践総合センター
- ⑦3 屋内プール50m
- ⑦4 教育学部附属幼稚園
- ⑦5 // 附属中学校
- ⑦6 // 附属中学校体育館
- ⑦7 // 附属小学校
- ⑦8 // 附属小学校体育館
- ⑦9 // 附属小学校温室
- ⑧0 // 附属小学校飼育小屋
- ⑧1 弓道場
- ⑧2 課外活動共用施設2(サークル棟)
- ⑧3 総合研究博物館展示棟(常設展示室)
- ⑧4 大学院連合農学研究科棟
- ⑧5 馬術部馬房
- ⑧6 郡元南食堂
- ⑧7 総合教育研究棟(多島園研究センター・大学院司法政策研究科・大学院臨床心理学研究科)
- ⑧8 インフォメーションセンター
- ⑧9 焼酎学講座実験研究棟



桜ヶ丘キャンパス

医学部

歯学部

大学院医歯学総合研究科

医学部・歯学部附属病院



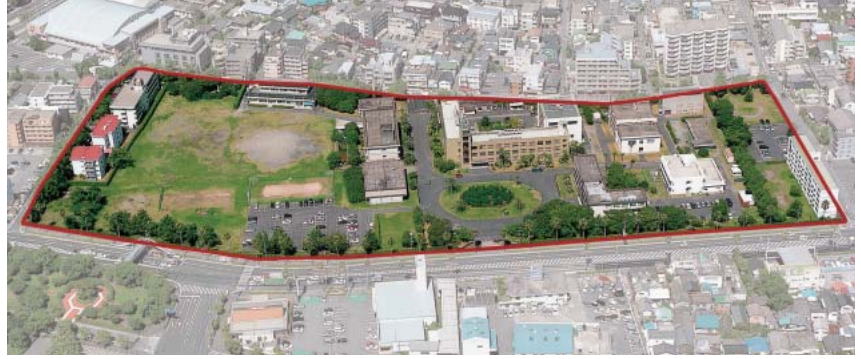
- ① 医学部臨床講義実習棟
- ② 医歯学総合研究科棟3 (臨床医学系)
- ③ // ④ (新臨床医学系)
難治ウイルス病態制御研究センター
- ④ 医歯学総合研究科棟2 (基礎医学系)
- ⑤ RI実験施設
- ⑥ 動物実験施設
(フロンティアサイエンス研究推進センター)
- ⑦ 福利厚生施設 (桜ヶ丘会館)
- ⑧ 学生寄宿舎
- ⑨ 医学部・歯学部附属病院看護師宿舎
- ⑩ // 附属病院医科病棟
- ⑪ // 附属病院医科診療棟
- ⑫ // 附属病院結核感染病棟
- ⑬ // 附属病院管理棟
- ⑭ 医学部基礎講義実習棟
医歯学総合研究科共同利用研究棟
- ⑮ 中央機械棟
- ⑯ ポンプ室
- ⑰ 附属図書館桜ヶ丘分館
- ⑱ サークル棟
- ⑲ 実験廃液処理施設
- ⑳ 医学部・歯学部附属病院歯科診療棟・病棟
- ㉑ 医歯学総合研究科棟1 (歯学系)

- ㉒ 歯学部講義実習棟
- ㉓ 桜ヶ丘体育館
- ㉔ 体育器具庫
- ㉕ 医学部保健学科研究棟
- ㉖ 共通教育棟
- ㉗ MRI-CT装置棟
- ㉘ 医療情報施設
- ㉙ 鶴陵会館
- ㉚ 桜ヶ丘武道場
- ㉛ 弓道場



下荒田キャンパス

水産学部



- ① 管理・研究棟
- ② 資源利用科学棟
- ③ 食品・資源利用学実習棟・UPVリエゾンオフィス・プロジェクト研究室
- ④ 資源育成科学棟
- ⑤ 福利厚生棟
(1F: 食堂・売店、2F: 附属海洋資源環境教育研究センター)
- ⑥ 附属海洋資源環境教育センター実験・実習棟
- ⑦ 講義棟
- ⑧ 大型回流水槽実験棟
- ⑨ 変電室
- ⑩ 車庫・倉庫
- ⑪ 倉庫
- ⑫ サークル棟
- ⑬ 附属図書館水産学部分館
- ⑭ 国際交流会館(1号館)
- ⑮ // (2号館)
- ⑯ 職員宿舍
- ⑰ 外国人研究者宿泊施設

教育学部附属特別支援学校

下伊敷1丁目



- ① 校舎
- ② 体育館
- ③ 生活訓練棟
- ④ 水遊び場(プール)

学生寮

唐湊3丁目



- ① 男子寄宿舎A棟
- ② // B棟
- ③ // C棟
- ④ 女子寄宿舎
- ⑤ 共用棟

鹿児島大学位置図・鹿児島市内交通アクセス

東京リエゾンオフィス交通アクセス

● 鹿児島大学・附属施設位置図 ●



● 鹿児島市内交通アクセス ●

鹿児島空港から…鹿児島空港リムジンバスで天文館まで約45分、鹿児島中央駅まで約55分

■ 郡元キャンパス

(鹿児島中央駅経由)
市電/郡元行 工学部前まで10分
市バス/「9・11・20番線(鴨池港行)」 鹿大正門前まで約10分
市バス/「9・11・20番線(鴨池港行)」 法文学部前まで約10分

■ 桜ヶ丘キャンパス

(鹿児島中央駅経由)
市バス/「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」 大学病院前まで約40分
市電/「谷山行き」 脇田電停下車
大学病院まで約1.2km(坂道徒歩約20分)

鹿児島交通バス/「14番線(大学病院行)」

大学病院前下車

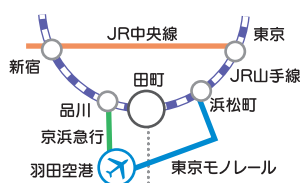
■ 下荒田キャンパス

(鹿児島中央駅経由)
市バス/「11番線(鴨池港行)」
「18番線(大学病院経由桜ヶ丘行)」 体育館前まで約8分
(鹿児島中央駅経由由しない)
市バス/「12・31・32番線(三和町行)」 水産学部前下車
市電/ 騎射場電停下車徒歩5分

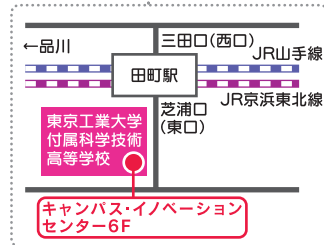
■ 鹿児島大学東京リエゾンオフィス

1.所在地
〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目3番6号
キャンパスイノベーションセンター(CIC)
607号室
TEL・FAX: 03-5440-9099
(CIC) 受付TEL 03-5440-9020
2.アクセス
○JR田町駅 芝浦口(東口)から徒歩1分

■ 主要駅から



■ 田町駅から



所在地一覧

●所在地一覧●

【事務局】	〒890-8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【法文学部】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番30号	☎099(285)7111(代表)
【教育学部】	〒890-0065 // 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表) 時間外099(285)7729
附属小学校	〒890-0065 // 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7962
附属中学校	〒890-0065 // 郡元一丁目20番35号	☎099(285)7932
附属特別支援学校	〒890-0005 // 下伊敷一丁目10番1号	☎099(224)6257-0206
附属幼稚園	〒890-0065 // 郡元一丁目20番15号	☎099(285)7990
附属教育実践総合センター	〒890-0065 // 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7111(代表)
【理学部】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7111(代表)
附属南西島弧地震火山観測所	〒892-0871 // 吉野町10861	☎099(244)7411
【医学部】	〒890-8544 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
【歯学部】	〒890-8544 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
【医学部・歯学部附属病院】	〒890-8520 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表・時間外)
霧島リハビリテーションセンター	〒899-6603 霧島市牧園町高千穂3930-7	☎0995(78)2457・2538(代表・時間外)
【工学部】	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【農学部】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
附属農場	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8771
唐湊果樹園	〒890-0081 // 唐湊三丁目32番1号	☎099(254)1042
指宿植物試験場	〒891-0402 指宿市十町1291番地	☎0993(22)2848
入来牧場	〒895-1402 薩摩川内市入来町浦之名字大谷4018-3	☎0996(44)2204
附属演習林	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)8744
高隈演習林	〒891-2101 垂水市海潟3237番地	☎0994(32)6329
佐多演習林	〒893-2604 肝属郡南大隅町佐多大字馬籠349番地	
附属動物病院	〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番24号	☎099(285)8750
【水産学部】	〒890-0056 // 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4111(代表)
附属海洋資源環境教育研究センター	〒890-0056 // 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4296
附属海洋資源環境教育研究センター東町ステーション	〒899-1403 出水郡長島町諸浦字蛤潟1620-3	☎0996(64)5013
【大学院医歯学総合研究科】	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表)
附属難治ウイルス病態制御研究センター	〒890-8544 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5111(代表)
【大学院司法政策研究科】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【大学院臨床心理学研究科】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【大学院連合農学研究科】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7111(代表)
【附属図書館】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7415
桜ヶ丘分館	〒890-8532 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5201
水産学部分館	〒890-0056 // 下荒田四丁目50番20号	☎099(286)4051
【保健管理センター】	〒890-8580 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7385
【多島園研究センター】	〒890-8580 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7394
【留学生センター】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番35号	☎099(285)3601
【総合研究博物館】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番30号	☎099(285)8141
【学術情報基盤センター】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番35号	☎099(285)7474
【生涯学習教育研究センター】	〒890-0065 // 郡元一丁目20番6号	☎099(285)7294
【教育センター】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番30号	☎099(285)8821
【稲盛経営技術アカデミー】	〒890-8580 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)8329
【フロンティアサイエンス研究推進センター】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)3583
アイソトープ総合実験施設	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)3594
遺伝子実験施設	〒890-0065 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)3581
動物実験施設	〒890-8520 // 桜ヶ丘八丁目35番1号	☎099(275)5500
機器分析施設	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7188
【産学官連携推進機構】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	
産学官連携部門	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)8491
知的財産部門	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)3881
ベンチャービジネス部門	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)3630
管理部門	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7106
【埋蔵文化財調査室】	〒890-8580 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7220
【稲盛会館】	〒890-0065 // 郡元一丁目21番40号	☎099(285)7111(代表)
【大学会館】	〒890-8580 // 郡元一丁目21番24号	☎099(285)7324
【学生寮】	〒890-0081 // 唐湊三丁目3番1号	☎099(251)3238・099(254)9098
【国際交流会館(1号館・2号館)】	〒890-0056 // 下荒田四丁目50番20号	☎099(252)7551
【職員会館(天心荘)】	〒890-0082 // 紫原三丁目20番19号	☎099(252)0577
【外国人研究員等宿泊施設】	〒890-0082 // 紫原三丁目20番19号	
【外国人研究者宿泊施設】	〒890-0056 // 下荒田四丁目50番20号	
【シリコンバレーオフィス】	Pixera Corporation, 140 Knowles Drive, Los Gatos, CA 95032, USA アメリカ合衆国カリフォルニア州ロスガトス市ピクセラ本社内	

〈鹿児島大学学章〉



創立50周年を記念して制定された。
KAGOSHIMAの頭文字『K』をデザインしたものである。
今、まさに飛び立とうとしている姿を『鳳』の形にデザインし、歴史と伝統に輝く鹿児島大学のキャンパスを巣立つ卒業生が世界の舞台を翔ようとしている姿をシンボル化したものである。

編集・発行 鹿児島大学総務部総務課
〒890 8580 鹿児島市郡元一丁目21番24号
代表電話 099(285)7111
FAX 099(285)7034
URL <http://www.kagoshima-u.ac.jp/>
発行日 平成19年6月